

大阪大學總合學術博物館 年報

2015



大阪大學總合學術博物館
The Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館

年報 2015

はじめに

私たちは2002年4月に正式に発足し、2007年8月より修学館を展示場として一般公開を開始し、今日に至ります。この間、私たち博物館や学内他部局の研究成果の公開、他大学博物館や近隣の各種博物館、また地方自治体などとの社学連携活動を全力で進めて参りました。本年もこうして2015年度の私たちの活動の概要『大阪大学総合学術博物館年報2015』をここに刊行し、皆様に公開できることを嬉しく思います。

2015年度も定例の展覧会として、特別展、夏期特集展覧会、企画展を開催しました。まず第8回特別展として「待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室」を開催し、待兼山地域の様々な記憶のあり方を地域との関係の中で浮き彫りにしました。また夏期には「藍と薬のめぐりあいー和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—」展を特集展覧会として開催し、博物館の研究成果を地域連携の一環として公開しました。さらには第19回企画展として「金銅仏きらきらしーいにしえの技にせまるー」展を開催し、学内他部局の研究成果の公開を行いました。これらはどれも社会的にも高い評価を受け今後の研究教育のあり方、また社学連携事業のあり方を再考する良い機会になりました。この他にも、例年のように「サイエンスカフェ@待兼山」「夏の小学生科学体験教室」「阪大生がつくった展覧会2015ベスト」など様々な社学連携的活動や学生の自主的・社会貢献活動の支援活動を行い、多くの学内外の方々との貴重な共創の機会となりました。また私たちは全国大学博物館等協議会の担当校を務め、全国の大学博物館の中で重要な仕事をさせていただいた年でした。また「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」、「北大坂ミュージアム・ネットワーク」に参加し、各種シンポジウムやイベントを開催、協力して、近隣の博物館との協力関係もさらに強化することができました。

教育活動も活発で、兼任先の研究科・学部での授業担当のみならず、学内の学際融合科目、基礎セミナー科目、博物館学実習科目なども開講して全学の中で博物館を活用するユニークな科目群を構成しています。

私たち大阪大学総合学術博物館は、広く社学連携に積極的な「交流型ミュージアム」として地域社会に親しまれることを目指し、同時に世界最先端の研究教育を推進するという「阪大スタイル」を標榜しております。これからも個性的な大学博物館として邁進して参りたいと思いますので、今後ともご支援、ご鞭撻をお願い申しあげます。

2016年12月

大阪大学総合学術博物館長

永田 靖

目 次

1. 展覧会報告 I	5
大阪大学総合学術博物館 第8回特別展 待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室	
・概要	6
・報告（大阪大学総合学術博物館 教授 橋爪 節也）	15
2. 展覧会報告 II	19
大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会 藍と葉のめぐりあい—和漢葉「敬震丹」と阿波・大坂—	
・概要	20
・報告（大阪大学総合学術博物館 特任助教（常勤）高浦 佳代子）	23
3. 展覧会報告 III	27
大阪大学総合学術博物館 第19回企画展 金銅仏きらきらし—いにしえの技にせまる—	
・概要	28
・報告（大阪大学大学院文学研究科 教授 藤岡 穂）	32
4. サイエンスカフェ@待兼山	38
・2015年度（カフェNo.127～134）	39
5. 夏の小学生科学体験教室	41
・授業内容	42
6. 阪大生がつくった展覧会 2015 ベスト	43
7. 専任教員活動報告	49
総合学術博物館 館長 永田 靖	50
総合学術博物館 研究・教育部	
・資料基礎研究系 准教授 高橋 京子	52
・資料先端研究系 教授 高浦佳代子	56
・資料情報研究系 准教授 上田 貴洋	58
・資料情報研究系 教授 豊田 二郎	60
・資料情報研究系 准教授 宮久保圭祐	61
・資料情報研究系 教授 橋爪 節也	62
・資料情報研究系 助教 横田 洋	69
総合学術博物館 資料部	
・特任講師（常勤）伊藤 謙	71
8. 資料	73
・2015年度の主な活動一覧	74
・入館者数及びアンケート集計結果一覧	77
・団体見学一覧	87
・関連記事一覧	89
・寄贈図書一覧	92
・館内配置図	95

1. 展覧会報告 I

大阪大学総合学術博物館 第8回特別展

待兼山少年

大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室

概 要

大阪大学総合学術博物館 第8回特別展「待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室」を2015年4月30日（木）から7月11日（土）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

昨年開催「阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト」の成果を再構成した展覧会で、美術家・伊達伸明によるインスタレーションや、伊達と情報科学研究科・安藤英由樹の「サッカードディスプレイ」とのコラボレーションなど、地域の《記憶》をテーマに、大学らしい実験的な展示を積み重ねた。本展覧会の期間中の来場者は、4,510名と好評であった。

大阪大学総合学術博物館 第8回特別展

テーマ：「待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室」

期 間：2015年4月30日(木)～2015年7月11日(土)

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階多目的ルーム

主 催：大阪大学総合学術博物館

共 催：豊中市、豊中市教育委員会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、

大阪大学大学院国際公共政策研究科 稲盛財団寄附講座

大阪大学大学院工学研究科、大阪大学大学院情報科学研究科

後 援：大学博物館等協議会、北大阪ミュージアム・ネットワーク

協 力：大阪芸術大学、建築物ウクレレ化保存計画、大阪大学21世紀懐徳堂

入館者数：4,510人

関連イベント

国際アートイベント

Webbing Project at Machikaneyama Searching Levitation through Fermentation

「発酵を通しての空中浮揚の探求」

主催：大阪大学総合学術博物館、ケルサンアートスタジオ（インドネシア）

【展示】5月23日(土)～5月30日(土) 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

【ワークショップ】5月29日(金) 会場：大阪大学会館 21世紀懐徳堂スタジオ

来場者数：17人

【パフォーマンス】5月30日(土)「発酵曼荼羅」

会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

写真に残す 少年時代のまち歩き

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市、豊中市教育委員会

協力：NPO法人とよなか・歴史と文化の会

6月27日(土) 「原田少年」 案内人：とよなか・歴史と文化の会 参加者数：10人

7月4日(土) 「待兼山少年」 案内人：伊達伸明氏 参加者数：12人

7月5日(日) 「新田少年」 案内人：山田昭治氏 参加者数：7人

スペシャル・トーク

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市、豊中市教育委員会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

協力：大阪大学21世紀懐徳堂

11月7日(土)「待兼山少年」最終章…ウクレレ

伊達伸明（建築物ウクレレ化保存計画）×チチ松村（ゴンチチ）来場者数：49人

待兼山少年



大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室
—— Machikaneyama Shōnen Project ——

2015年

4月30日(木) → 7月11日(土)

午前10時30分→午後5時 日曜・祝日休館
入館無料

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市、豊中市教育委員会

かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

大阪大学大学院国際公共政策研究科 稲盛財団寄附講座

大阪大学大学院工学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科

後援：大学博物館等協議会

北大阪ミュージアム・ネットワーク

協力：大阪芸術大学、建築物ウクレレ化保存計画

大阪大学21世紀懐徳堂

家族の記憶 住まいの記憶 街と大学の記憶

……永遠の少年の記憶は時空を循環する

戦前の旧制浪速高校以来、地域と学校が連携して繁栄してきた待兼山周辺。その地に大阪大学の教職員用の宿舎として建設されたのが「阪大石橋宿舎」(1958年1号棟竣工)でした。しかし、半世紀を経た2014年、老朽化によって同宿舎は廃止され、無人となった解体前の建物を活用したイベント「阪大石橋宿舎おみおりプロジェクト」が実施されました。大学と地域の《記憶》をテーマに、アーティストや学生によるインスタレーションやパフォーマンス、建築リノベーション、音響作品、旧住人からの聞き取り調査と映像化が行われました。本展覧会では、この地に生きた人々の《記憶》を集約した「阪大石橋宿舎おみおりプロジェクト」を、架空の存在である「待兼山少年」の案内と、プロジェクトにかかわったアーティスト伊達伸明によるインスタレーションを中心に再構成します。大学博物館ならではのユニークな企画をぜひご覧ください。



1960年代の待兼山。
中央が大阪大学医療技術短期大学部(現在の大坂大学総合学術博物館待兼山修学館)
手前の5棟並んだ建物が「阪大石橋宿舎」

●キャンパス ミュージアム プロジェクト

大阪大学のキャンパス全体がミュージアムであるという理念のもと、本展覧会の会期中、大阪大学豊中キャンパス内のさまざまなアートリソース(建築物・記念碑・オブジェ等)を紹介し、同時にその楽しみ方を提案するプロジェクトを開催します。
※詳細は当館ホームページなどで案内します。

●関連イベント

国際アートイベント

Webbing Project at Machikaneyama
Searching Levitation through Fermentation

「発酵を通しての空中浮揚の探求」

2015年5月22日(金)→6月1日(月)

インドネシア、デンマークと日本のアーティストが待兼山を舞台に作品を作成／発表する A.I.R. (アーティスト・イン・レジデンス) プロジェクト
※詳細は当イベントチラシもしくは当館ホームページで

かんさい・大学ミュージアムネットワーク連携展

関西大学創立130周年記念事業・平成27年度 関西大学博物館企画展

大学の扉を開く

2015年4月1日(水)→5月17日(日)

午前10時→午後4時 入館無料

会場：関西大学博物館 特別展示室

主催：関西大学博物館

共催：かんさい・大学ミュージアムネットワーク

※詳細は当展覧会チラシもしくは関西大学博物館ホームページで

※当展覧会のお問い合わせは関西大学博物館(06-6368-1171)まで

待兼山少年

大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室
— Machikaneyama Shōnen Project —

2015年

4月30日(木)→7月11日(土)

午前10時30分→午後5時 日曜・祝日休館
入館無料

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市、豊中市教育委員会

かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

大阪大学大学院国際公私政策研究科 稲盛財団寄附講座

大阪大学大学院工学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科

後援：大学博物館等協議会、北大阪ミュージアム・ネットワーク

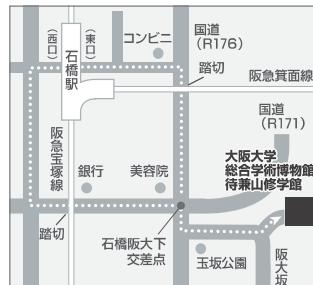
協力：大阪芸術大学、建築物ウクレ化保存計画

大阪大学21世紀懐徳堂

●アクセス

阪急電鉄宝塚線「石橋駅」下車 徒歩10分

※公共交通機関をご利用ください



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
〒560-0043 豊中市待兼山町1-20

TEL : 06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

展覧会関連イベントを上記の他にも多数開催します。
詳細は当館ホームページまたは豊中市ホームページなどで案内します。

Exhibition

Awang Behartawan アワン・ベハルタワン

1970年生まれ、南スマトラ、バレンバン出身。ジョグジャカルタ・デザイン・スクール卒業。他者が異なる時空において経験する人生を伝えるために、彼は銃弾と微生物を絵画における象徴として用いる。人生という物語は巡り死が訪れるところ、終わりを迎えるところ、彼はKIT(コベンハーゲン国際劇場)に指名され、メトロボリス・ラボラトリーやコベンハーゲンビエンナーレ2007において、スペイン出身のエンリケ・バルガスとの共同制作を行ってきた。また、彼の諸作品は、香港にあるカリン・ウェーバー・ギャラリーの「ニューアーティスト」に、そしてデンマークにおいては「ヒレレス・アート・ディ」に展示されたこともある。現在、デンマークのコベンハーゲンに住み、活動を行っている。



Works

REFRACTION リフラクション

→D

Words are invisible
言葉は目に見えない

→D

Exhibition

Rikke Darling リッケ・ダーリング

1975年生まれ、デンマーク・コベンハーゲン出身。コベンハーゲン・ファッショニ・デザイン・アカデミーにおいて、ファッショニ・デザインおよびイラストレーション講座を修める。後、コベンハーゲン・ビジネス・スクールにてデザインおよびコミュニケーション・マネジメント学の修士号を得て卒業する。彼女は自然を探求する画家で、その手法は、科学的であり、心理学的である。作品は、エネルギーッシュな色使いと躍動感があり、自然における反復性、強烈な関心を元来寄せていく。作品の形状については、高いクロマティック・バランスの重要性、およびカラーライフサイクル、バランスの重要性、および文化的影響を映す物語から着想の源を得ている。5か国の画廊における活動、手がけているところ、アーティストマーケット、スウェーデン、日本、およびインドネシアにおいて、個展をおこなったこともある。なお、現在は、デンマーク、コベンハーゲンに住み、活動を行っている。



Works

CAPUTURE THE MOMENT キャプチャー・ザ・モーメント

→D

Fauzie As' Ad ファウジ・アサド

1968年生まれ、西ジャワ、ブカシ出身。インドネシア芸術学院を卒業し、リビアン・ショーダインに留学。インドネシアと東南アジアのモチーフと共に、現代の西洋絵画と彫刻における象徴として用いる。人生という物語は巡り死が訪れるところ、終わりを迎えるところ、終わりを迎えるところ、彼は自指している。その統合は、アジアの文字にテーマを与えることにより特徴づけられている。主に中国、ドイツ、フランス、インドネシア、およびリビエン・ショーダインにおいて、まれではあるがスイスおよびセネガルにおいても、多くの個展およびグループ展にこれまでに関わってきた。最近の展覧会の中には、以下のようなものがある。「Kunst auf Augenhöhe」於 Galerie Hollabola、「Körper und Geist in Bewegung」於 Sportpark of Schellenberg の彫刻、「Art Exchange Dresdner-Biennale」、および「KIAFII」。現在、リビエン・ショーダインに住み、活動を行っている。



Works

Visual Orchestra Imaginary networking Schaan-Yogyakarta-Osaka ビジュアル・オーケストラ

→A

MANDALA di Antara Langit & Bumi Between Sky and Earth マンダラ・空と地球の間

→F

Yayat Surya ヤヤト・スルヤ

1968年生まれ、インドネシア、西ジャワ、チルボン出身。インドネシア芸術学院の演劇専攻を卒業。視覚の上でも哲学の上でも、指針の基本原則を古代中国の書籍である易經に求める。易經とは異なる文化的および宗教的背景の中で育ったが、彼にとって易經とは、インスピレーションの源を絶対なく与えてくれる存在であった。六芒星を成す線は、幾何学的な抽象という絵文字と呼応する。彼の作品は今現在も導入されている他の記号としては、曼荼羅と円がある。最近の展覧会は、次の通りである。「Public Colors/Private Lines」於 Kersan Art Studio、「Soundtrack」於 Srisasanti Art House、「INDOfest」於 Nexus Multicultural、「Tribute」、「Shanghai Contemporary Art」於 Shanghai Art Fair。現在、インドネシア、ジョグジャカルタに住み、活動を行っている。



Works

NATURAL VIBRATION No.1 & No.2 ナチュラル・バイブレーション No.1 & No.2 →C&E

SILENT FERMENTATION 静かな発酵

→E

Lenny Ratnasari Weichert レニー・ラトナサリ・ウェイヘルト

1970年生まれ、パンダン出身。ジョグジャカルタのインドネシア芸術学院にて学ぶ。人類の独自性における諸相が互いに衝突し合う様を探求することへ、氏の活動は深い好奇心を固くに寄せているため、相互に作用し合う、多くのアイデンティティを、その活動の由来とする。彼の芸術は、グローカル・レファレンス・システムの辻々の上に存在していたが、この文脈の内においても、人格、魂、およびジェンダーの多重層の埋め込みを熟考する。他方、特色豊かな、多くの諸相をもつ自己学習的な西洋と東洋との間の旅、つまり、宗教、サフカルチャ、禁忌、および、社会における女性の位置づけへの調査と、先の文脈とを結びつけることによってもまた、氏の芸術は、この多重層の埋め込みを熟考する。これまでヨーロッパとアジアにおいて、数多くの国際的な展覧会に参加してきた。最近の展覧会の中には、以下のようなものがある。「Contemporary Eye Of Indonesian Art & Cultural Heritage」於 Dia Lo Gue、「Langkawi Art Biennale」(2014)、「FOCUS + INDONESIA」於 National Museum (2014)、「Dresdner-Biennale」、ドイツ・インドネシアプロジェクト「UDystopia」(2010)、および「CROSSING SIGNS」(2011)。現在、ジョグジャカルタ、ジョグジャカルタ、インドネシア、およびシンガポールに住み、活動を行っている。



Works

Anaerobik アナEROBIC

→B

Performance

発酵曼荼羅

5月30日(土) 14:00~16:00

主な出演者

佐久間新

佐久間ウィアンタリ

Yayat Surya

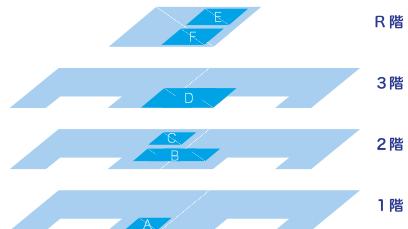
M. Dwi Marianto

大石麻未

三田宏美

Hiros

Floor Map





写真に残す

大阪大学総合学術博物館

第8回特別展「待兼山少年」関連イベント

少年時代のまち歩き！



- ① **原田少年** 6月27日(土) 13時～15時(予定)

案内人：とよなか・歴史と文化の会さん

- ② **待兼山少年** 7月4日(土) 14時～16時(予定)

案内人：伊達伸明(美術家)さん

- ③ **新田少年** 7月5日(日) 13時30分～15時30分(予定)

案内人：山田昭治さん

少年時代のまち歩きとは？ !!

このイベントは、少年時代を豊中で過ごした3人の案内人と、その地域の写真を撮りながらまちを巡るツアーです。案内人が原田、待兼山、新田の3つの地域それぞれのスポットを巡りながら、当時のお話をします。

ツアーに参加されるみなさんは、お話を聞きながら心に残った風景と案内人の少年時代の等身大パネルと一緒に写真に収めてもらいます。(少年の写真の等身大パネルを風景の中に置いて撮るイメージです。) ツアーの写真は特別な技術はいらないので、デジカメや携帯電話などで気軽に撮ってください。もちろん一眼レフで撮っていただいても構いません。当時のお話と現在の風景との違いを楽しみながら撮っていただいた写真を使って、後日ツアー紹介の展示を公共施設等にて行います(予定)。

ツアーについて(雨天決行) ☂

対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

料金 無料

定員 各15人(応募者多数の場合は抽選となります)

申込方法 往復はがきに「ツアーネーム(開催地域名でも可)」「氏名(保護者同伴の場合は保護者名も)」

「年齢」「郵便番号」「住所」「※電話番号」返信用の宛名に住所氏名をご記入の上、

下記問い合わせ先へ郵送してください。平成27年6月12日(金)の消印有効。

メールでの申込みも可能です。(FAXは不可)

定員を超えた場合は抽選とし、いずれの場合も結果は通知します。

※当日、催しを中止する場合、ご連絡をさせていただくことがあります。

催し当日(午前10時～10時30分)に連絡が取れる電話番号をご記入ください。

お問い合わせ 豊中市都市活力部文化芸術課

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1

T E L : 06-6858-2864

E-mail : bunka@city.toyonaka.osaka.jp

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市、豊中市教育委員会

協力：NPO法人とよなか・歴史と文化の会

少年時代の まち歩き写真展

6月・7月に開催した「写真に
残す少年時代のまち歩き」の
参加者のみなさんが撮った
写真を展示しています。



写真は原田、待兼山、新田地域
で、各案内人の幼少期パネルと
一緒に当時の思い出の場所を
撮影したものです。案内人のお話
と共に辿った写真展です。

◆新田少年写真展

10月31日(土)

13:00～18:00 旧新田小学校

◆待兼山少年写真展

11月7日(土)、11月9日(月)～11月14日(土)

10:30～17:00

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

◆原田少年写真展

11月14日(土)、11月15日(日)、

11月21日(土)、11月22日(日)、11月28日(土)

12:00～16:00 (入館は15:30まで)

原田しろあと館

11/28 同 時 開 催

★文化財コンサート

「箏とヴァイオリン 超絶技巧の世界」

箏とヴァイオリンによる演奏。演奏曲は、

「モンティ/チャルダーシュ」、「宮城道雄/春の海」ほか
時間:13:30

場所:原田しろあと館

定員:30人(就学前児童不可)

出演:箏 橋本桂子、ヴァイオリン 松田淳一

申込方法:当日会場(入場料無料)

10/31 同 時 開 催

★文化財コンサート

「木造校舎で聴く名曲たち」

声楽、ヴァイオリン、ピアノによる演奏。
明治時代のオルガンの音も披露します。
演奏曲は、「ふるさと」ほか。

時間:13:30 場所:旧新田小学校

定員:50人(就学前児童不可)

出演:声楽 日隈葉子、ヴァイオリン

宮田晴奈、ピアノ得丸黎大

申込方法:当日会場(入場料無料)

★講演会「写真とコミュニケーション」

コミュニケーションツールとしての写真の
活用についての講演会

時間:16:00～17:00

場所:旧新田小学校

定員:50人

講師:福原直輝

(プロフィール)商業デザイン会社・元代表

クリエイティブディレクター

グラフィックデザイナー

PR誌編集長等を歴任

お問い合わせ

豊中市都市活力部文化芸術課

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1

TEL:06-6858-2864

E-mail:bunka@city.toyonaka.osaka.jp

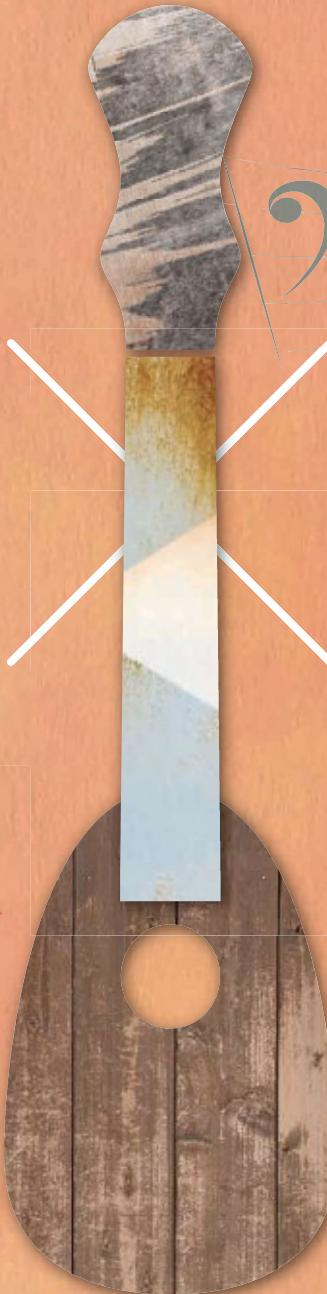
待兼山少年 最終章
ウクレレ

チ
チ
松
村

(ゴンチチ)

伊
達
伸
明

(建築物ウクレレ化保存計画)



日 時 平成27(2015)年 11月7日(土) 18時開演 (17時30分開場、19時30分終演予定)

会 場 大阪大学21世紀懐徳堂スタジオ (大阪大学豊中キャンパス・大阪大学会館1F)

主 催: 大阪大学総合学術博物館

共 催: 豊中市、豊中市教育委員会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

協 力: 大阪大学21世紀懐徳堂

平成27年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
交流する大学ミュージアムを目指して 建築物等再活用プロジェクト



待兼山少年 最終章 ウクレレ



チチ松村

1954年大阪生まれ。

10代後半から音楽活動を始め、ソロアーティストとして関西で活躍。ゴンチ結成以降は、音楽活動の傍らエッセイ等の執筆も行い、『わたしはクラゲになりたい』／河出書房新社、『ゴミを宝に』／光文社、『それゆけ茶人』／廣済堂出版、『緑の性格』／新潮社、『盲目の音楽家を捜して』／メディアファクトリーなど、これまでに14冊の著書を上梓している。一方、自らを「茶人」を称し、風流な生活を実践。「変な物好き」としても広く知られている。

<http://www.gontiti.jp/>



伊達伸明

美術家。1964年生まれ。

2000年より解体される建物の部材を利用してウクレレを制作する「建築物ウクレレ化保存計画」を主宰。現在までに60以上のウクレレを制作。2012年からは仙台市で『亞炭考古学』プロジェクトを開始、2014年には「豊中市立市民会館 おみおり展」を開催。土地の記憶、建物の記憶をテーマにしたさまざまな活動を展開中。

大学ミュージアムでの新しい“知”的冒険……廃止された大阪大学石橋宿舎を活用し、大学と地域の“記憶”をテーマに、2014年夏から秋に「阪大石橋宿舎おみおりプロジェクト」が開催された。インсталレーションやパフォーマンス、建築リノベーションなどが行われ、今年はそれを引き継ぐ形で、第8回特別展「待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室—」も開かれた。

ユニークなこれら一連のプロジェクトの中心で活動したのが、取りこわされる建物を保存する「建築物ウクレレ化保存計画」のアーティスト伊達伸明である。伊達は幼少期を石橋宿舎第3号棟で過ごし、特別展の象徴「待兼山少年」のモデルであるとともに、第3号棟の旧自宅部材を用いた「建築物ウクレレ化保存計画」を推進中である。

今回のイベントでは、第1部で「おみおりプロジェクト」から「待兼山少年」までの一連のプロジェクトを振り返る。第2部では、伊達が旧自宅部材を用いて制作したウクレレをお披露目するとともに、「建築物ウクレレ化保存計画」をめぐって、これまで対談を重ねてきた音楽家のチチ松村と対談する。

そこでなにが語られるか……伊達家ウクレレの音色は？

2年間にわたって展開したプロジェクトの“最終章”とも言うべきスペシャル・トークにご期待下さい。

日 時：平成27(2015)年11月7日(土)
18時開演(17時30分開場、19時30分終演予定)
会 場：大阪大学21世紀懐徳堂スタジオ
(大阪大学豊中キャンパス・大阪大学会館1F)

主 催：大阪大学総合学術博物館

共 催：豊中市、豊中市教育委員会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

協 力：大阪大学21世紀懐徳堂

定 員：50名(申込先着順)

参加費：無料

申込方法：下記、大阪大学総合学術博物館ホームページ上、Webフォームにて申込受付
<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

お問い合わせ：大阪大学総合学術博物館

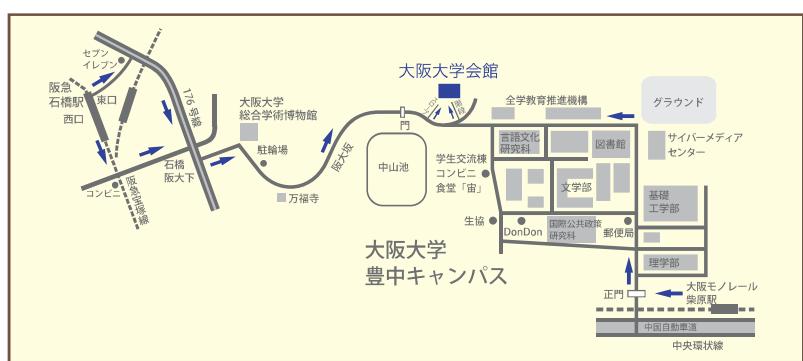
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13

TEL:06-6850-6714

アクセス：大阪大学豊中キャンパス大阪大学会館1F

阪急電車宝塚線 石橋駅下車徒歩約15分

大阪モノレール 柴原駅下車徒歩約15分



関連企画

少年時代のまち歩き写真展

主催: 豊中市 共催: 大阪大学総合学術博物館、豊中市教育委員会 協力:NPO法人よなか・歴史と文化の会

特別展「待兼山少年」の関連企画として6月・7月に開催した「写真に残す少年時代のまち歩き」の参加者のみなさんが撮った写真を展示しています。

新田少年写真展

10月31日(土)
13:00～18:00
旧新田小学校

待兼山少年写真展

11月7日(土)、11月9日(月)～11月14日(土)
10:30～17:00
大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

原田少年写真展

11月14日(土)、11月15日(日)、11月21日(土)、11月22日(日)、11月28日(土)
12:00～16:00(入館は15:30まで)
原田しろあと館

報 告

大阪大学総合学術博物館 第8回特別展

「待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室」と「Webbing Project at Machikaneyama Searching Levitation through Fermentation 発酵を通しての空中浮揚の探求」

大阪大学総合学術博物館
教授 橋爪 節也

“記憶”をキーワードに、現在の大坂大学を語る上で最も興味深いキャンパスが豊中キャンパスである。待兼山周辺は、古代遺跡や西国街道など、重層的な歴史的事象が累積し、大正15年（1926）の旧制浪速高校設立後も、“大坂時代”から戦後復興、高度成長期を経てバブル崩壊など、激動する歴史の変遷を観察できる。とりわけ豊中キャンパス西地区は空間的な魅力に富み、里山である待兼山と中山池を結んだ“自然軸”と、旧イ号館（現大阪大学会館、昭和4年竣工）と待兼山修学館（昭和6年竣工）という登録文化財二棟を結ぶ“歴史軸”が、待兼山の遊歩道で交叉するなど、個性的なキャンパス空間を保っている。

待兼山修学館西側にあった「石橋職員宿舎」が、老朽化と耐震性を理由に取り壊されるに際して平成26年に開催したのが、「阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト」である。博物館としては宿舎を単に毀すのではなく、大学と地域にからんだ“記憶”的問題をテーマに生きた教材として大学教育や研究材料として活用することを考えた。見慣れたキャンパスのあり方を問いかけ、閉鎖的な大学の日常空間を広く社会に開放し、そこで生活してきた人間の“記憶”を蘇らせることで、通学路として管理された阪大坂や待兼山周辺を魅力に富んだ空間として再生できないか、そんな可能性をアートの力によってシンボリックに提案しようとしたものであった。

「阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト」については昨年度の年報で報告しているので省略するが、平成27年にそれらの成果をまとめた、第8回特別展「待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室」（4月30日～7月11日）を開催した。

待兼山修学館の展示室を四つのコーナーに分け、第1室には、石橋宿舎の歴史と、大阪大学工学研究科の小浦久子（現神戸芸術工科大学教授）指導の大学院生による宿舎を改造する「工学研究科リノベーション・プロジェクト」の記録資料や写真、大学院文学研究科主催「声なき声 いたるところにかかる声 そして私の声《芸術祭》」による映像、オブジェなどを展示了。

第2室では、「阪大石橋宿舎おみおくりプロジェクト」で中心的に活動した美術家伊達伸明によるインсталレーションがなされた。伊達は、取り壊される建造物の部材を採集してウクレレとして保存する「建築物ウクレレ化保存計画」を推進しているが、大阪大学名誉教授である実父と石橋宿舎第3棟4号室に居住し、幼少時代をそこで過ごしている。自



**第1室 「声なき声 いたるところにかかる声
そして私の声 《芸術祭》」**



**第2室 スケッチを拡大して立体化した
「実物大立版古」**

分の家が毀される時、それをウクレレにしたらどんな感情が沸き起きたのか、それを経験する機会が今回到來したのである。幼少時の伊達が描いた絵日記などを会場に並べ、伊達のスケッチを実物大に立体化した「実物大立版古」を制作した。

第3室には、待兼山や中山池の“記憶”を、昆虫採集やザリガニ釣りをした伊達少年の記憶に残る地図として屏風（古襖を屏風形式につないだもの）に描き、大阪大学情報科学研究科の安藤英由樹による「サッカードディスプレイ」を設置した。

第4室は、石橋宿舎外壁にあった金属製の各棟の番号が吊り下げられた。伊達は、数字のみがグレーの暗い空間に漂うことで、取り毀された後の空虚感の表現を試みた。さらに本館も加盟している、かんさい・大学ミュージアム連携から音楽家・音楽プロデューサーである大阪芸術大学の宇都宮泰によって宿舎で採集された音響が再生された。



第3室 「待兼山屏風」



第4室 「廃墟 刻まれる時間」

なお、「待兼山少年」の会期中、海外と日本のアーチストが待兼山を舞台に作品を制作／発表する「Webbing Project at Machikaneyama Searching Levitation through Fermentation 発酵を通しての空中浮揚の探求」（5月23日～5月30日）を開催した。参加アーチストの多くはインドネシアと関係が深い。5月30日には、インドネシア・ダンサーの佐久間新を中心に、修学館前の広場から屋上にまで参加者が上るパフォーマンス「発酵曼荼羅」も開催された。

会期中の関連イベントでは、共催の豊中市都市活力部文化芸術課が中心となって「写真

に残す 少年時代のまち歩き」も開かれた。そして 11 月 7 日、スペシャル・トーク 「「待兼山少年」最終章 ウクレレ 伊達伸明（建築物ウクレレ化保存計画）×チチ松村（ゴンチチ）」（大阪大学会館）における伊達と GONTITI のチチ松村とのトークのなかで、完成した伊達のウクレレが公開された。

予算や時期の問題、宿舎使用の制約、複雑に交錯する企画とコミュニケーションの難しさなどあり、十分な成果をあげたとは言え

ないが、キャンパスと地域の“記憶”をテーマに、国内外の多彩なアーチストや研究者が関わったユニークな企画として、国公立や私立博物館ではない、大学博物館でしかできなかつた挑戦的プロジェクトであった。

なお、これら一連のプログラムについては、大阪大学総合学術博物館叢書 12、橋爪節也、横田洋編著『待兼山少年 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室』（大阪大学出版会、2016 年 3 月）に詳細にまとめられている。



スペシャル・トークでの伊達伸明とチチ松村

2. 展覧会報告Ⅱ

大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会

藍と薬のめぐりあい —和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—

概 要

大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい —和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—」を 2015 年 7 月 25 日（土）から 8 月 25 日（火）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

江戸時代、阿波国（徳島県）の製薬業者・犬伏古松軒が世に送り出し、熱さましや気付けの効能で知られる和漢薬「敬震丹」に焦点を当て、様々な資料からこの妙薬を取り巻く世界を紹介した。徳島市立徳島城博物館にて 2015 年 4 月 11 日（土）から 6 月 7 日（日）に行われた展覧会の巡回展として開催したが、道修町文書（大阪市指定文化財）を追加して展示を行った。本展覧会の期間中の来場者は、1,936 名と好評であった。

大阪大学総合学術博物館 夏期特集展

テーマ：「藍と薬のめぐりあい —和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—」

期 間：2015 年 7 月 25 日(土)～ 2015 年 8 月 25 日(火)

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

主 催：大阪大学総合学術博物館

共 催：徳島市立徳島城博物館

協 力：くすりの道修町資料館、大阪大学 21 世紀懐徳堂

特別協力：犬伏製薬株式会社

入館者数：1,936 人

ミュージアム・レクチャー

第 64 回 8 月 1 日(土)「緒方洪庵の薬箱が語る世界

：近世の医療とセルフメディケーション」来場者数：42 人

高橋 京子（大阪大学総合学術博物館准教授）

第 65 回 8 月 8 日(土)「近世の薬種流通と大坂道修町」来場者数：44 人

清水 香穂 氏（大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了）

第 66 回 8 月 22 日(土)「阿波の伝統薬「敬震丹」

～現代のストレス社会を見越した妙薬～」来場者数：65 人

犬伏 壮一郎 氏（犬伏製薬株式会社薬剤師）



大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会

藍

丹

のめぐりあい

—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—

2015年

7月25日土▶8月25日火

開館時間:10:30~17:00

休館日:日曜日

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

入館無料

ミュージアム・レクチャー

※会場:3階セミナー室、聴講無料
定員60名(当日先着順)、開場13:30

[第64回]8月1日(土) 14:00~15:30

「緒方洪庵の薬箱が語る世界:近世の医療とセルフメディケーション」

講師:高橋 京子(大阪大学総合学術博物館准教授)

[第65回]8月8日(土) 14:00~15:30

「近世の薬種流通と大坂道修町」

講師:清水 香穂(大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了)

[第66回]8月22日(土) 14:00~15:30

「阿波の伝統薬「敬震丹」~現代のストレス社会を見越した妙薬~」

講師:犬伏 壮一郎(犬伏製薬株式会社薬剤師)

主催:大阪大学総合学術博物館

共催:徳島市立徳島城博物館

協力:くすりの道修町資料館、大阪大学21世紀懐德堂

特別協力:犬伏製薬株式会社

大阪大学総合学術博物館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel.06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp>

阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分

※公共交通機関をご利用ください。



藍と薬のめぐりあい —和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—

江戸時代、阿波国（徳島県）の製薬業者・犬伏古松軒が世に送り出した「敬震丹」。熱さましや気付けの効能で知られ、阿波のみならず全国各地に出荷された和漢薬です。

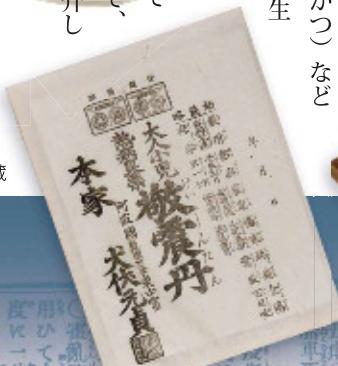
麝香（じやこう）・牛黃（ごおう）・全蠍（ぜんかつ）など希少で高価な生薬を数多く配合したこの薬の誕生には、阿波屈指の藍商でもある犬伏家の経済力、そして日本一の薬種市場である大坂道修町との結びつきが深く関わっています。本展覧会では、現代まで作り継がれる「敬震丹」に焦点をあて、様々な資料からこの妙薬をとりまく世界をご紹介します。



ポスター「敬震丹／活寿丸」
近代 犬伏元久氏蔵



看板「敬震丹」
近代 犬伏製薬株式会社蔵



[右] 敬震丹と袋
犬伏製薬株式会社蔵
[下] 敬震丹効能書
近代 犬伏製薬株式会社蔵



官許
大・小・兒
敬震丹

禁
活壽丸

本家製薬所

敬震丹



日下部鳴鶴揮毫扁額「敬震丹」 明治19年(1886) 犬伏製薬株式会社蔵

交通のご案内

阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分

*公共交通機関をご利用ください。



引札「敬震丹／活寿丸」
明治時代 犬伏元久氏蔵



しおり「敬震丹／活寿丸」
近代 犬伏製薬株式会社蔵



ポスター「敬震丹／活寿丸」
近代 犬伏製薬株式会社蔵

報 告

大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会

「藍と薬のめぐりあい —和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—」

大阪大学総合学術博物館

特任助教（常勤） 高浦 佳代子

本展覧会は、同年春（2015年4月11日～6月7日）に徳島市立徳島城博物館にて行われた同名展覧会の巡回展として、大阪大学総合学術博物館主催、徳島市立徳島城博物館共催、くすりの道修町資料館・大阪大学21世紀懐徳堂協力、そして犬伏製薬株式会社を特別協力として開催した。展示品目は徳島での展示と同じ犬伏製薬所蔵資料に加え、本展覧会でのみ道修町文書の展示を行った。企画段階

では、総合学術博物館の伊藤謙研究支援推進員（当時）および松永和浩特任講師（当時）が主担当であったが、両名の異動に伴い、高浦が引き継ぐ形となった。展示構成やキャプション・リーフレット等の作成においては、適塾記念センターの松永和浩准教授、総合学術博物館の高橋京子准教授らとともに、徳島城博物館の森脇崇文氏、犬伏製薬株式会社の犬伏壯一郎氏と密に連絡を取りながら進めた。特に森脇氏、犬伏氏には、大いにご尽力いただいたことをここに御礼申し上げる。

「敬震丹」は江戸時代に阿波国（徳島県）の製薬業者、犬伏古松軒が世に送り出した和漢薬である。当初は熱さましの薬として知られていたが、現在は気付けを主な効能としている。犬伏家の故郷である阿波と大坂は淡路島を挟んで対岸にあり、また大坂には四国方面への海上交易の拠点であった「阿波座」の地名が今も残るなど、地理的な結びつきも深い。ま

た、後に述べる「敬震丹」を構成する生薬の入手には薬の町として知られる大坂道修町が深く関わっていたと考えられる。こうした阿波と大坂の関係性を背景としながら、本展覧会では、「敬震丹」を通して文系・理系それぞれの観点から、当時の薬種の流通や経済的背景、また生薬や製剤の歴史を感じ取れる展示を目指した。その構成は以下の通りである。

第一章 阿波犬伏家と藍と薬

第二章 和漢薬「敬震丹」の誕生と大坂・道修町

第三章 犬伏古松軒の販売戦略

第四章 敬震丹を作り出す道具たち



徳島会場での展示風景



展示風景(第一章)

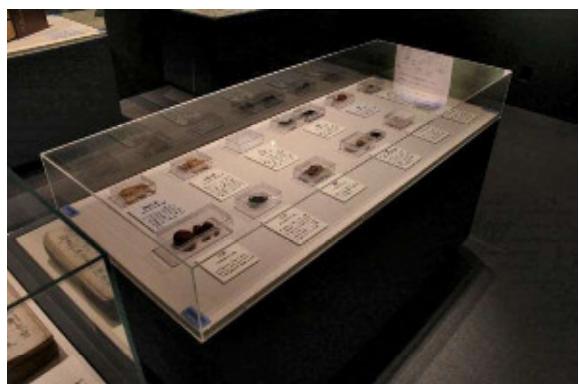
まず、第一章では「敬震丹」が生み出された背景について紹介した。戦国末期に阿波三好氏に属した武将、犬伏左近にさかのぼる犬伏家は、板野郡東中富村（現在の徳島県板野郡藍住町東中富）を拠点とした阿波有数の富豪であり、阿波の特産品である藍の取引で財を築いた。江戸後期になると、犬伏家は財産を元手に製薬業を営みはじめ、「敬震丹」が生み出されることとなる。「敬震丹」の名が刻まれた日下部鳴鶴揮毫の堂々たる扁額からは、そんな自家の薬に対する自信と誇りがうかがえる。

第二章では、そんな「敬震丹」を構成する生薬に目を移した。万覚帳（よろずおぼえちょう）は、様々な情報を書き留めた雑記帳であるが、「敬震丹」の処方やその由来等が記された箇所もある重要な資料である。「敬震丹」の処方が記されたページを展示了が、何度も貼紙や付紙により構成生薬の分量や品目が修正されており、当時の試行錯誤の様子や、「敬震丹」にかけた情熱を実感することができる資料となった。主な構成生薬には、麝香や全蠍、牛黃、サフランなど、貴重で高価な生薬が目立つ。全 19 種の構成生薬のうち、植物由来のものが 12 種、動物由来が 6 種、鉱物 1 種となっており、動物性生薬が多く含まれているのも特徴である。展示では、大阪大学所蔵標本および犬伏製薬からの提供によりこれら構成生薬すべてを現物で展示することで、内容生薬の豊富さと、その形状・由来の多様性を実感できるようにした。また、どちらかといえば、薬をテーマとした展示は子供の興味をひくことが難しいが、実物の生薬等を展示することで足を止めてくれる子供も多かったように思う。

また、これら生薬には海外から輸入されたとみられる生薬も多く含まれている。当時、大坂道修町（現在の大坂市中央区道修町）が日本列島における薬種流通の一大拠点となっていたり、「敬震丹」の原料生薬調達にも道修町が大きな役割を果たしていたと考えられる。そこで、前述のとおり本展示では、大阪市指定重要文化財である道修町文書より「三方申合条目」「甘松埋蘆香見本提出並びに禁裏御用等控書」「阿州他へ下し唐和薬種斤高代銀書上帳」の三点を展示するとともに、当時の薬種輸入の経路をパネルで示した。道修町は薬の町としてその後も発展し、武田・田辺・塩野義といった日本を代表とする製薬メーカーが誕生し、今でも多くの製薬企業の本社が置かれている。



万覚帳



生薬展示(第二章)

しかし、どれだけ効能が優れても、知名度を高め、販路を拡げる工夫なくしては大きな支持を得ることは困難である。そこで、第三章では犬伏古松軒の販売戦略に目を向けた。随心院門跡坊官奉書では、薬の効能を認め菊紋の使用許可を得るなど、伝統的権威によるお墨付きを得ようとする犬伏家の戦略がうかがえる。当時の証文からは、阿波国内での薬剤の販売が委託販売方式であったことがわかるが、薬剤の効能に自信を持ち、代理店網の拡大を優先したと考えられる。また、代理店ごとに必要な看板の仕様などを細かく指示した「看板註文仕出帳」からは、看板へのこだわりが感じ取れるとともに、東京・千葉・宮城など東日本の地名も多く登場する代理店の分布からは犬伏家の薬剤の流通範囲も知ることができる。実際の看板は会場奥に吊り下げた形で展示したが、丁寧に扱われてきた「金看板」が輝きを放ち、ひときわ目を引いた。壁には額に入れた当時のポスターを展示したが、こちらは電報局の女性職員を描いたと思われる図案で、社会進出する新時代の女性像を伝統的な和漢薬の広告に使用するところにセンスを感じられる。類似品への注意喚起の記載があるチラシは、そんな戦略により全国区に展開した「敬震丹」の販路の広さと知名度の高さを象徴している。

第四章では、そんな「敬震丹」の作成に使用された道具類の展示を行った。普段あまり目にすることのない伝統的な製剤道具を一度見ることができ、足を止めていた見学者も多かった。片手切や薬研などは一般的に使用されていたものと変わりないが、「敬震丹」独特の四角の剤形に「敬」の字を刻印する「刻印器」や薬剤枠は独特のものであった。私自

身、薬剤計数用の道具としては丸剤数を計る丸いくぼみのある計数さじしか見たことがなかったので、「敬震丹」の形状に合わせて四角いマス目が切られた薬剤枠は興味深いものであった。

また、本展覧会ではミュージアム・レクチャーとして8月1日に高橋京子准教授の「緒方洪庵の薬箱が語る世界：近世の医療とセルフメディケーション」、8月8日に清水香穂氏の「近世の薬種流通と大坂道修町」、8月22日に犬伏壮一郎氏の「阿波の伝統薬「敬震丹」～現代のストレス社会を見越した妙薬～」をそれぞれ開催した。いずれも、徳島会場でも展示期間中に同テーマで開催されたものである。それぞれ多くの参加者を得、盛況のうちに終了した。

最後に、期間を通じて1,936名の入館者があり、文理多様な質問が寄せられるなど、多方面からの関心を得ることができた。また、巡回展の一つのテストケースとしても有意義な経験が得られたと考えている。



展示風景(第二～四章)

3. 展覧会報告Ⅲ

大阪大学総合学術博物館 第19回企画展

金銅仏きらきらし —いにしえの技にせまる—

概要

第19回企画展「金銅仏きらきらし 一いにしえの技にせまるー」を2015年10月24日(土)から12月22日(火)の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。本展は、2012年9月に開催した大阪大学総合学術博物館創立10周年記念文化財公開シンポジウム「奈良の大仏はなぜ“若くみえる”のか?—美術史、化学、修復からみた金銅仏の最新研究—」を継承して、文理融合による金銅仏研究を推進することを目的とし、文学研究科との共催により開催したもので、とりわけ藤岡穣文学研究科教授が研究代表者を務める科学研究費補助金基盤研究(A)「5~9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究」の研究成果の一端を紹介することを主眼とした。また、東京藝術大学大学美術館の特別協力を得て、今後国立大学法人附属博物館の交流を推進する試金石ともなった。

本展では、東京藝術大学29点、大阪市立美術館8点、逸翁美術館3点、白鶴美術館3点の各金銅仏、これに京都・某寺の本尊金銅菩薩半跏像を加えた計44点の金銅仏を展観した。また、東京国立博物館所蔵の興福寺仏頭制作工程模型、早稲田大学文学部美術史コース所蔵の興福寺仏頭レプリカをもあわせて展示し、写真・解説パネルとともに金銅仏の制作技法の紹介に努めた。本展の約2ヶ月の開催期間中、5,030名の来場者を得て好評を博した。

大阪大学総合学術博物館 第19回企画展

テーマ:「金銅仏きらきらし 一いにしえの技にせまるー」

期 間:2015年10月24日(土)~2015年12月22日(火)

会 場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階多目的ルーム

主 催:大阪大学総合学術博物館

共 催:大阪大学大学院文学研究科

特別協力:東京藝術大学大学美術館

協 力:奈良国立博物館、角谷鑄金工房、オリンパス株式会社、株式会社アコード、
大阪大学21世紀懐徳堂

後 援:大学博物館等協議会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、
北大阪ミュージアム・ネットワーク

入館者数:5,030人

関連イベント

鑄金工房見学会

11月15日(日)「茶釜と水滴の鋳型から鋳造技法を学ぶ」

参加者数:13人(事前説明会:15人 午前の部:7人 午後の部:6人)

国際シンポジウム

12月12日(土)「金銅仏の制作技法の謎にせまる」

会 場:大阪大学 基礎工学部国際棟Σホール 参加者:172人

主 催:科学研究費補助金基盤研究(A)「5~9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究」、
大阪大学総合学術博物館

シンポジスト:丹羽 崇史 氏(奈良文化財研究所・研究員)

川見 典久 氏(黒川古文化研究所・研究員)

于 春 氏(西安美術学院美術史系・副教授)

閔 丙贊 氏(韓国国立中央博物館・研究企画部長)

藤岡 穣 氏(大阪大学大学院文学研究科・教授)

サイエンスカフェ@待兼山 ※「4. サイエンスカフェ@待兼山」の項に記載

Figure 9. Ternary diagram for copper, lead, and tin contents showing proposed basic alloying formulations + 3 percent.

大阪大学総合学術博物館 第19回企画展

金銅仏きらきら いにしえの技にせまる

elements. Alloy group 1 corresponds to the 8/10/15 bronze formulation. Groups 2A and 2B correspond to the 8/2.5/7.5 bronze formulation. Group 2 samples are thus may be too small to represent this group as it is intended to include multivariate metallographic differences between compositions would be more subtle and difficult to discern. Multivariate analysis can then be used to speculate that 2A and 2B derive from a 80/10/10 bronze formulation. The high lead content corresponds to a 67.5/7.5/25 bronze formulation. This suggests the use of two parts copper to one part of lead. Interestingly, ten of the fifteen specimens in this group are ungilded, in contrast to the five which are gilded.

Multivariate consideration of the minor elements antimony, silver, bismuth and nickel show trends in their concentrations. The concentrations are quite consistently matching period across specimens in four of the alloy groups. The average percent concentrations for the matching specimens from all four groups are $\text{Sb} = 0.29 \pm 0.06$, $\text{Ag} = 0.14 \pm 0.05$, $\text{Bi} = 0.078 \pm 0.021$. In more than eighty percent of the specimens in group 2B, the concentrations of these elements are consistent within the group and significantly different from the other four groups, with a higher level of Sb (0.29 ± 0.025) and lower levels of the remaining elements ($\text{Ni} = 0.07 \pm 0.07$, $\text{Ag} = 0.13 \pm 0.05$, $\text{Bi} = 0.070 \pm 0.025$). The higher bismuth content may be due to the presence of impurities in the lead. The lower antimony concentrations imply that the elements were probably derived from different sources. The low silver content suggests that the silver was added later or refined.

8/10/15 bronze
8/7.5/7.5 and
only eight
only eight
physical
these two
is distinction
use of an
corresponds
sition suggests
the 8/7.5/7.5
represent
of bronzes
atomic
present
these
change slightly
8/10/15, 2A
from the
8/7.5/7.5
of the high
content from
the 8/7.5/7.5
elements. As
and the
its presence
antimony
impurities
group and
ever, that
of the
8 - N. Wei
2 - N. Qi
3 - Six Dyn., 01
4 - Sui
5 - Tang
5 - Song
7 - Ming
8 - Qing



入館
無料

2015年

10月24日[土]～12月22日[火]

[開館時間]午前10時30分～午後5時 [休館日]日曜日・祝日(ただし11月1日(日)・11月3日(火・祝)は開館)

[会場]大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

[主催]大阪大学総合学術博物館 [共催]大阪大学大学院文学研究科 [特別協力]東京藝術大学大学美術館

[協力]奈良国立博物館、角谷鋳金工房、オリンパス株式会社、株式会社アコード、大阪大学21世紀樓德堂

[後援]大学博物館等協議会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、北大阪ミュージアム・ネットワーク



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel:06-6850-6284 http://www.museum.osaka-u.ac.jp/

阪急電鉄宝塚線「石橋駅」下車 歩き10分 ※公共交通機関をご利用ください。

右:誕生仏立像(東京藝術大学美術館) 中央(上より): 仏坐像(造営美術館)、菩薩三尊像(大阪市立美術館)、飛天像(東京藝術大学美術館)、仏坐像(東京藝術大学美術館)

Paul Jett and Janet G. Douglas, Chinese Buddhist Bronzes in the Freer Gallery of Art: Physical Features and Elemental Composition. Materials Research Society Symposium Proceedings Vol. 267, 1992.より一部転載

金銅仏きらきらし いにしえの技にせまる

金銅仏とはブロンズで作り金メッキした仏像のことです。飛鳥時代、6世紀半ば頃に日本に仏教が伝えられたとき、天皇は金銅仏を見て「きらきらし」と称えました。

金銅仏の歴史は古くに遡ります。ガンダーラでは2、3世紀頃の作例が知られ、3、4世紀頃に中国で初めて本格的に作られた仏像も金銅仏でした。日本では飛鳥～奈良時代が金銅仏の黄金期であり、その最たるもののが奈良東大寺の大仏でした。

ブロンズは銅に錫や鉛などを混ぜた合金です。金銅仏はそれを溶かし、型に流し込んで作ります。このように一言で説明すると簡単なようですが、実際にはさまざまな工夫が凝らされました。原型には土型と蠟型の2種があり、それぞれ制作工程が異なります。ブロンズ自体も配合の具合で融点や流動性、色や硬さに違いが生じます。他にも、中型と外型の固定方法、溶銅の注ぎ口や出口の作り方など、金銅仏の制作技法には多くの謎があります。

この展覧会では、そうした金銅仏の制作技法の謎—いにしえの技—にせまるべく、興福寺仏頭の制作工程模型、そしてアジア各地の金銅仏約40点を成分分析調査等の成果とともに展覧いたします。

5 bronze
5 and
ly eight
separate
ysical
two
inction
t is
e of an
esponds
suggests
tin and
ented in
bronzes

rsentie,
ing these
seventy
2A,
in the
is = 0.36
.017,
ie high

from
Bi =
s (As =
0.059
presence
many
titles
group and
that it
r that



三尊板(大阪市立美術館)



複形五尊像(白鶴美術館)



金銅版五尊仏像(白鶴美術館)

[左]如来倚像(東京藝術大学大学美術館) [中]菩薩坐像(東京藝術大学大学美術館)

[右]菩薩立像(東京藝術大学大学美術館)

SN
0.4



仏立像(東京藝術大学大学美術館)



無量寺仏坐像(東京藝術大学大学美術館)

関連イベント ※要事前申込み。各詳細は当館ホームページをご覧ください。

サイエンスカフェ@待兼山「飛鳥仏の世界」

2015年11月7日(土)14:00～15:30

大阪大学大学院文学研究科 博士後期課程 鏡山智子 ※定員30名。申込締切10月7日(必着)。

鎌工房見学会「茶釜と水滴の鎌型から鎌造技法を学ぶ」

2015年11月15日(日)

大阪府八尾市の角谷鎌工房を見学し、鎌型づくりを体験的に学びます。※定員14名。申込締切10月21日(必着)。

国際シンポジウム「金銅仏の制作技法の謎にせまる」

2015年12月12日(土)10:00～17:10

会場: 大阪大学基礎工学部国際棟E(シグマ)ホール

主催: 科学研究費補助金基盤研究(A)「5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究」、
大阪大学総合学術博物館

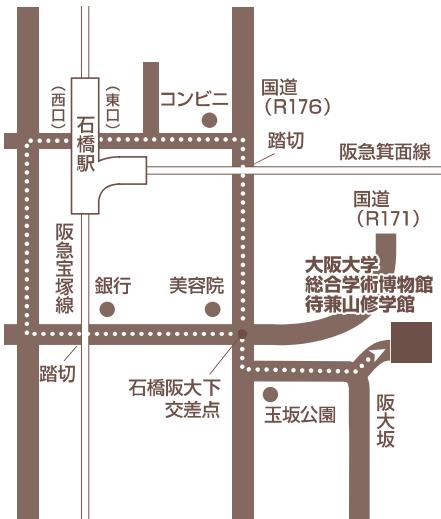
※申し込み方法等の詳細は当シンポジウムチラシもしくは当館ホームページをご覧ください。

※当シンポジウムのお問い合わせは大阪大学大学院文学研究科 日本・東洋美術史研究室(kondoubutsu.kirakirashi@gmail.com)まで。

交通のご案内

阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分

※公共交通機関をご利用ください。



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel:06-6850-6284 <http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

国際シンポジウム

金銅仏の制作技法の 謎にせまる

大阪大学総合学術博物館第19回企画展「金銅仏きらし—いにしえの技にせまる—」の開催(2015年10月24日～12月22日)にあわせ、金銅仏の制作技法について考える国際シンポジウムを開催します。

中国、韓国、日本それぞれにおける金銅仏の制作技法に関する研究の現在を語るとともに、青銅器から金銅仏を見つめることで研究の相対化を図ります。そしてディスカッションを通じて「わかること」と「わからないこと」を確認し、これからの研究の新たな可能性を探ります。

2015年12月12日[土]
10:00～17:10

[会場] 大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学部国際棟Σ(シグマ)ホール

[定員] 200名 ※事前申し込み必要 [参加費] 無料

内容

10:00～10:10 開会あいさつ・趣旨説明

第1部 東アジアの青銅製品の技法と材質

10:10～10:50 東アジアにおける「失蠟法」の成立と展開
丹羽崇史(奈良文化財研究所・研究員)

10:50～11:30 日本における青銅鏡の材質と制作技法
川見典久(黒川古文化研究所・研究員)

第2部 東アジアの金銅仏の技法と材質

13:20～14:10 唐代小金銅仏の鋳造実験－四脚座の鋳造技法を考える－(※逐次通訳)
于春(西安美術学院美術史系・副教授)

14:10～15:00 韓国国立中央博物館所蔵金銅半跏思惟像の制作技法
一国宝78号半跏像を中心にして－(※逐次通訳)
閔丙贊(韓国国立中央博物館・研究企画部長)

15:00～15:40 東アジア金銅仏の成分分析からわかること
藤岡穰(大阪大学大学院文学研究科・教授)

第3部 パネルディスカッション

16:00～17:00 金銅仏の制作技法の謎にせまる
司会: 加島勝(大正大学文学部・教授)
パネリスト: 丹羽崇史、川見典久、于春、閔丙贊、藤岡穰

17:00～17:10 閉会あいさつ

※第1部、第2部の各発表テーマについては一部変更になる場合があります。

菩薩半跏像(東京藝術大学大学美術館)



申し込み方法

WEBフォームまたは往復ハガキでお申ください。

▶ WEBからのお申込

http://www.museum.osaka-u.ac.jp/2015kondoubutsu_symposium

▶ 往復ハガキでのお申込

郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、

返信ハガキにご住所を明記のうえ、下記にてご送付願います。

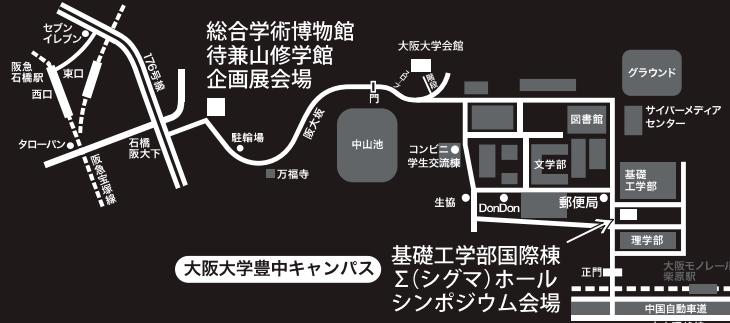
〒560-8532 豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院 文学研究科
日本・東洋美術史研究室 シンポジウム申込係

※複数名でお申込の場合、同伴者全員の情報をご記入ください。

※申込締切は12月4日(必着)。定員になり次第締め切ります。

アクセス

阪急宝塚線「石橋」駅(徒歩20分)、大阪モノレール「柴原」駅(徒歩10分)



[お問い合わせ] 大阪大学大学院文学研究科 日本・東洋美術史研究室 シンポジウム担当 E-mail:kondoubutsu.kirakirashi@gmail.com

[主催] 科学研究費補助金基盤研究(A)「5～9世紀の東アジア金銅仏に関する日韓共同研究」、大阪大学総合学術博物館

報 告

大阪大学総合学術博物館 第 19 回企画展

「金銅仏きらきらし 一いにしえの技にせまるー」

大阪大学大学院文学研究科

教授 藤岡 穣

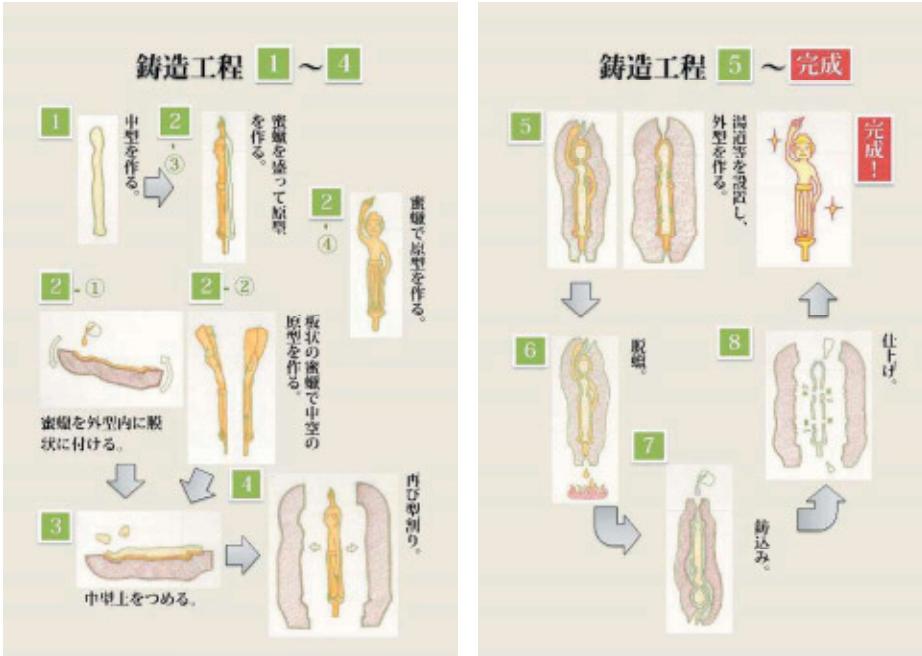
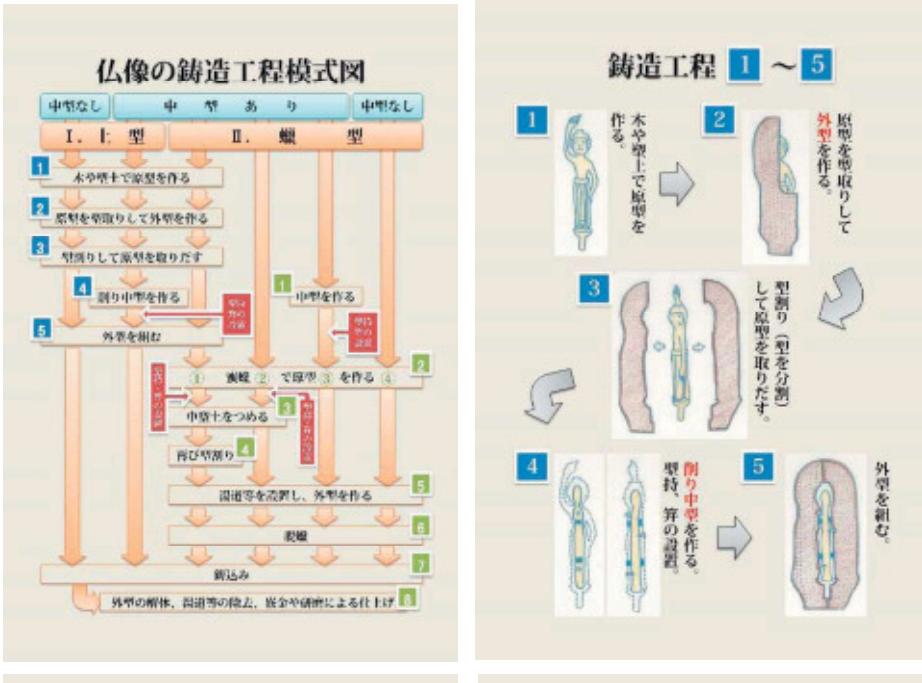
金銅仏とはブロンズ（青銅）製で金メッキした仏像のことである。飛鳥時代、6世紀中頃、日本に初めて仏教が伝えられた。その際、百濟から贈られた金銅仏を見た天皇は「端巖（きらきらし）」と称えたという。本展のテーマを「金銅仏きらきらし」とした所以である。

ブロンズとは銅に錫や鉛、砒素などを混ぜた合金である。金銅仏の多くは、それを溶かして型に流し込む鋳造技法によって作られたが、その工程にはさまざまな工夫が凝らされた。原型には土型と蠟型の2種があり、ブロンズは配合の具合で融点や流動性、色や硬さに違いが生じる。また、中型と外型の固定方法、溶銅の注ぎ口の作り方など、金銅仏の制作技法には多くの謎がある。本展では、こうした金銅仏の制作技法の謎ーいにしえの技ーにせまるべく、興福寺仏頭の制作工程模型、そしてアジア各地の金銅仏44点を成分分析等の科学的調査の成果とともに展覧した。以下、展覧会の構成にしたがって内容を報告する。

I. 金銅仏の作り方 ～興福寺仏頭の制作工程模型とともに～

本展第I部では、はじめに金銅仏の制作技法の概要をご理解いただくために、白鳳仏を代表する興福寺仏頭の制作工程模型を模型制作の記録写真とともに展示した。興福寺仏頭は、応永18年（1411）の火災で頭部だけが焼け残ったもので、型持（spacer）や笄（釘、core-pin）の設置状況などがよくわかる。模型は、こうした利点を生かし、東京国立博物館普及室と東京藝術大学美術学部の鋳金、保存修復、美術史の各研究室とが協同で、実物の約二分の一スケールで制作したものである。蠟型鋳造（lost wax）であることを前提とし、①中型、②蠟付け、③湯道・堰の設置～外型、④型割り、⑤研磨の5段階の模型が制作されたが、本展ではそのうち④を除く4段階の模型を展示した。なお、興福寺仏頭の実際の大きさを体感していただくために、また展覧会の導入として、興福寺仏頭の実物大のレプリカ（早稲田大学文学部美術史コース所蔵）を展示した。仏頭は現在、本来よりも数度ほど上に仰いだ状態で台に固定されている。そこで、本展ではあえて下向きの斜面台に仏頭を展示し、本来の見え方に近い状態を再現した。

興福寺仏頭の制作工程模型は蠟型鋳造を前提とし、その技法を復元したものであるが、より伝統的な鋳造技法として土（砂）型鋳造（clay/sand mold）がある。そこで、土型、蠟型の鋳造工程を系統図的に図解し、かつ鋳造技法に関するさまざまな工夫や問題点をパネル解説した。



II. さまざまな金銅仏～日本・朝鮮半島・中国・チベット～

続いて第Ⅱ部では、日本、朝鮮半島、中国、チベットの4つの地域の、さまざまな時代の金銅仏43点を展観した。

展示した金銅仏はいずれも小品であるため、細部や銘文の拡大写真、展示では見られない底面や内部の写真を補助的に展示し、観覧者の興味を引くように努めた。

なお、本展にあわせて『2013～2015年度科学研究費補助金基盤研究（A）「5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究」研究成果報告書』を刊行した。本報告書は、本展出品の金銅仏すべてをとりあげ、各像について蛍光X線分析の結果を公表するとともに、技法を中心とした所見を記したもので、本展のカタログに替わるものとして来場者に無償頒布し、観覧の便に供した。



III. ふたつの半跏思惟像～京都・某寺像と兵庫・慶雲寺像～

第Ⅲ部では、京都・某寺、そして兵庫・慶雲寺に伝わる半跏思惟像をとりあげた。両像は小金銅仏としては大型であり、きわめて精巧な作り、優れた鋳造技術を見せるが、これまで彫刻史上に定位されてこなかった。そこで、両像の造形的特徴や技法を広く東アジアの仏像と比較するとともに、蛍光X線分析などの科学的調査の成果を踏まえ、両像が朝鮮・三国時代の作である蓋然性が高いことをパネル展示によって示した。

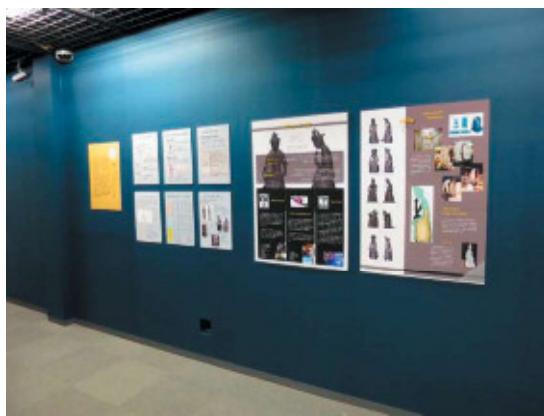
本展では、上記2体の半跏思惟像のうち京都・某寺像を、ご所蔵寺院の格別のご高配により12月1日～14日の2週間、展観させていただけたことになった。ところが、会期中にさらなるご高配を得て、期間を延長して会期末まで展観することができた。



IV. 金銅仏を科学する～蛍光X線分析と3次元計測～

2013～2016 年度科学研究費補助金基盤研究（A）「5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究」では、東アジアの金銅仏の制作地・年代を再検討するために、蛍光X線分析や3次元計測などの科学的調査を実施してきたが、第IV部ではこうした科学的調査の原理や機器、さらには文化財研究への応用の現状をパネル展示によって紹介した。

文化財研究において科学的調査は万能ではないが、蛍光X線分析によって得られる情報は、経験的判断を客観的に保証してくれる場合があり、逆に時に大きく常識を揺るがすこともある。今後の金銅仏研究においては、こうした科学的調査、文理融合的視点による研究が不可欠となるに違いない。3次元計測についても、中型の形や断面図、銅の厚みをありありと示すことができる点は大きなメリットである。3次元計測の場合は、複製や輸送のための補助具の制作など2次的な利用方法についても研究が進められている。



本展の企画、開催には文学研究科の日本・東洋美術史研究室の院生が参画し、展覧会のテーマや構成の検討に始まり、展示プランの作成、イベントの企画、カタログにかわる報告書の編集・執筆、解説パネルやキャプション原稿の作成、展示、撤収作業、作品の借用と返却にも関わった。また、本展で使用した100枚余りの写真・解説パネル、各展示品に添えたキャプションも院生たちが手作りで作成したものであった。

さて、本展では計 44 点の金銅仏を展観したが、これらはいずれも未指定作品であった。展覧会の会場となった待兼山修学館は、登録博物館や博物館相当施設ではなく、指定文化財の展示が認可されていないからである。一定の防犯体制は整っているが、展示ケースはいずれも仮設で、温湿度管理ができるものではなく、展示・保管の環境条件がさほど厳しくない金銅仏だからこそ展示が許可されたものの、決して良好な条件のもとでの展示とは言えなかった。

今後は、金銅仏だけでなく、あらゆるジャンルの美術について、文理融合による研究の必要性がますます高くなっていくと考えられる。本展がそうした新しい研究の礎となれば幸いである。

関連イベント

1. 錄金工房見学会「茶釜と水滴の鋳型から鋳造技法を学ぶ」

2015 年 11 月 15 日（日）

大阪府八尾市の角谷錆金工房を見学し、角谷勇圭氏、角谷嘉紀氏のご指導のもと、茶釜の鋳型づくり、蜜蠟型の作り方を体験的に学んだ。午前、午後の 2 回にわたって実施し、午前の部 7 名、午後の部 6 名、計 13 名の参加を得た。

2. 国際シンポジウム「金銅仏の制作技法の謎にせまる」

2015 年 12 月 12 日（土）10:00～17:10

会場：大阪大学基礎工学部国際棟 Σ ホール

主催：科学研究費補助金基盤研究（A）「5～9 世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究」、大阪大学総合学術博物館

参加者：172 名

プログラム：

10:00-10:10 開会あいさつ・趣旨説明

藤岡穰（大阪大学文学研究科・教授）

第 1 部 東アジアの青銅製品の技法と材質

10:10-10:50 東アジアにおける「失蠟法」の成立と展開

丹羽崇史（奈良文化財研究所・研究員）

11:00-11:40 日本における青銅鏡の材質と制作技法

川見典久（黒川古文化研究所・研究員）

第 2 部 東アジアの金銅仏の技法と材質

13:00-14:00 唐代小金銅仏の鋳造実験—四脚座の鋳造技法を考える—（逐次通訳）

于春（西安美術学院美術史系・副教授）

14:00-15:00 韓国国立博物館所蔵金銅半跏思惟像の制作技法

—国宝 78 号像を中心にして—（逐次通訳）

閔丙贊（韓国国立中央博物館・研究企画部長）

15:00-15:40 東アジア金銅仏の成分分析からわかること

藤岡穣（大阪大学文学研究科・教授）

第3部 パネルディスカッション

16:00-17:00 金銅仏の制作技法の謎にせまる

司会：加島勝（大正大学文学部・教授）

パネリスト：丹羽崇史、川見典久、于春、閔丙贊、藤岡穣

17:00-17:10 閉会あいさつ

橋爪節也（大阪大学総合学術博物館・教授）

4. サイエンスカフェ@待兼山

主催：大阪大学総合学術博物館

共催：豊中市立中央公民館

協力：大阪大学 21世紀懐徳堂

実施：2015年11月7日（土）～2016年3月19日（土） カフェNo.127～134

大阪大学で行われている最新の研究を広く人々に紹介するとともに、普段接する機会が少ない専門家と一般の方々との間のコミュニケーションの場となることを目指して「サイエンスカフェ@待兼山」を開催した。「サイエンスカフェ@待兼山」は2008年度から豊中市と連携して開催し、文系、理系を問わず様々な分野のテーマを扱ってきた。現在では総合学術博物館のイベントとして定着し、幅広い年代に参加していただいている。家族や友人と一緒に参加される方もおり、実施当日には会場が大いに盛り上がっている様も見られる。

サイエンスカフェの実施状況：

2008 年度	前期	カフェ No. 1 ~ 13	実施 13回
	後期	カフェ No. 14 ~ 27	実施 14回
2009 年度	前期	カフェ No. 28 ~ 37	実施 10回
	後期	カフェ No. 38 ~ 46	実施 9回
2010 年度	前期	カフェ No. 47 ~ 55	実施 9回
	後期	カフェ No. 56 ~ 65	実施 10回
2011 年度	前期	カフェ No. 66 ~ 80	実施 15回
	後期	カフェ No. 81 ~ 88	実施 8回
2012 年度	前期	カフェ No. 89 ~ 99	実施 11回
	後期	カフェ No. 100 ~ 107	実施 8回
2013 年度	前期	カフェ No. 108 ~ 112	実施 5回
	後期	カフェ No. 113 ~ 116	実施 4回
2014 年度	通年	カフェ No. 117 ~ 126	実施 10回
2015 年度	通年	カフェ No. 127 ~ 134	実施 8回

サイエンスカフェ@待兼山（2015年：2015年11月7日～2016年3月19日 カフェ No.127～134）

No.	実施日	タイトル	要旨
		コーディネーター	
127	11/7（土）	飛鳥仏の世界	法隆寺を中心とする奈良・斑鳩地域には、保存状態の良好な金銅仏や木彫像が集中して伝来しています。このレクチャーでは、法隆寺という場に伝えられた飛鳥仏のかたちや荘嚴具に施された意匠を通して、当時の政治・文化的背景や、飛鳥時代の人々の信仰のすがたに近づいてみたいと思います。
		鏡山 智子 氏	
128	11/21(土)	対話型調停の技	「貸したお金が返ってこない」「隣の人の騒音がうるさい」「嫌がらせをされた」……。日常生活の様々な場面で遭遇する利害調整やトラブルの多くは、当事者同士の話し合いによって解消されています。その話し合いにも優れたものとそうでないものがあります。今回は、当事者同士の生産的な話し合いを導く対話型調停の理論（の入口）を、模擬調停の実践もまじえながら体験的に理解してもらいます。
		仁木 恒夫 氏	
129	12/5（土）	不安定性がつくる動きと形	不安定という言葉にはあまりいいイメージを持っていない人が多いのではないかでしょうか。しかし、時間変化の中で現れる不安定性は小さな揺らぎを増幅することで大きな動きやパターンの出現を導き、世界を複雑で面白いものにする上で重要な働きをしています。いろいろなところで現れる動きやパターンを生じる不安定性にはいくつかの典型的な種類がありますが、今回はその代表的なものについて実例を見ながら紹介していきます。身の回りの見なれた動きやパターンも裏に隠れたからくりを意識してみるとちょっと違って見えるかも。
		茶碗谷 穀 氏	
130	2016年 1/30（土）	見えないを見る -紙で顕微鏡を作ろう-	科学の興味、発展のひとつは見えないものを見ることではないでしょうか。「百聞は一見にしかず」という言葉もあるように、見るだけで分かってしまうことがたくさんあります。顕微鏡、望遠鏡などで肉眼では見えない小さなものをいろいろな工夫で見えるようにしてきました。さまざまな例の紹介とともに、その手法の1つである顕微鏡を使って身近なものを観察してみましょう。また、紙でレーウェンフック型の顕微鏡を工作し、自作の顕微鏡で観察を楽しんでみましょう。
		戸所 泰人 氏	
131	2/6（土）	中国の仏画を読み解く -南宋仏画の理念と諸相-	中国の仏画には、壁画のみならず掛け軸の形をした作品も数多く作られ、実は日本にもたくさん伝来しています。絵巻の上に濃彩で描かれた美しい南宋時代の仏画は、現在中国本国にほとんど残っておらず、中国の当時の文化を知る上で貴重な視覚資料ともいえます。もちろん、日本人にとって馴染みのない造形感覚や、一見不思議に見える図様もあるでしょう。それらの仏画の魅力や特徴をご紹介し、南宋時代の仏画を通じて見てくる知られざる世界をお話します。
		高志 緑 氏	
132	2/13（土）	ニセ科学ってなんだろう	見た目は科学のようでも実はまったく科学的ではないものが世の中にはあふれています。そういうものを「ニセ科学」と呼んでおきましょう。ニセ科学には他愛のないものからかなり有害なものまでいろいろあります。特に社会的問題になったもの、なりそうなものを中心に、ニセ科学について考え、そこから逆に「科学的なものの見かた」とはどういうものなのかを考えてみましょう。
		菊池 誠 氏	
133	3/12（土）	分子レベルで明らかになりつつある生命科学	ここ数十年生命科学では、生命体内の反応や病気の原因の分子機構が次々と明らかになってきました。それを支えたのは構造生物学や分子生物学、分子科学といった複数の基礎科学分野の進展です。今回は、基礎科学がどのように生命科学・医学に寄与し、残された問題は何かをご紹介します。
		山中 秀介 氏	
134	3/19（土）	空海「風信帖」を紐解く	『風信帖』は、空海が最澄に宛てた自筆の書状のうちの1通で、京都の東寺（教王護国寺）に伝来しています。もとは5通伝わっていましたが、1通は盗難に遭い、もう1通は関白豊臣秀次の所望により天正20年（1592）に進上され、その後所在不明となりました。そのため、現在見ることができる書状は3通のみとなりますが、空海が最澄とともに親交を結んだころの書として、仏教史上、書道史上の貴重な遺品とされています。この講座では、書状の内容を丁寧に読み解き、また小筆と墨を用いて追体験を行い、書状の魅力を多方面からじっくりと味わってみたいと思います。
		浜野 真由美 氏	

Science Café at Machikaneyama

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気で、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したいと思っています。お気軽にご参加ください。

No. 127

2015年11月7日(土)

飛鳥仏の世界
鏡山 智子(文学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:制限なし

No. 128

2015年11月21日(土)

対話型調停の技
仁木 恒夫(法学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

No. 129

2015年12月5日(土)

不安定性がつくる動きと形
茶碗谷 毅(理学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:中学生以上

No. 130

2016年1月30日(土)

見えないを見る 一紙で顕微鏡を作ろう
戸所 泰人(技術部分析測定室)
時間:14:00~15:30
対象:中学生以上

No. 131

2016年2月6日(土)

中国の仏画を読み解く—南宋仏画の理念と諸相—
高志 緑(文学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:中学生以上

No. 132

2016年2月13日(土)

ニセ科学ってなんだろう
菊池 誠(サイバーメディアセンター)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

No. 133

2016年3月12日(土)

分子レベルで明らかになりつつある生命科学
山中 秀介(理学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:中学生以上

No. 134

2016年3月19日(土)

空海「風信帖」を紐解く
浜野 真由美(文学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

申込方法

Webフォームあるいは往復ハガキにてお申し込みください。

Webフォーム

申込受付期間確認ページ内のリンクをクリック。
<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

往復ハガキ

カフェ1タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入の上、下記宛に送付。
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学総合学術博物館

申込期間

各カフェ開催日の2ヶ月前から1ヶ月前。各カフェのタイトルごとに確認願います。締め切り日必着。

※応募多数の場合、原則として抽選で決定。抽選結果はメールもしくはハガキでお知らせします。

※「制限なし」のカフェの参加可能年齢は「小学生以上」とさせていただきます。

5. 夏の小学生科学体験教室

時 期：2015 年 8 月 18 日（火）～ 20 日（木）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階セミナー室

主 催：大阪大学総合学術博物館

後 援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会

協 力：大阪大学 21 世紀懐徳堂

文系、理系を問わず様々な分野に対する興味や関心を、子どもたちに持ってもらうことを目指して「夏の小学生科学体験教室」を開催した。自由応募制（小学校 5・6 年生対象）という形をとり、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会からの後援と大阪大学 21 世紀懐徳堂からの協力を得て、開催した。いずれも実験・実演を交えた体験型授業を行い、参加した子どもたちからも好評であった。（当日の参加者数は延べ名 46 名、保護者含まず）



「ワニの化石レプリカを作ろう」



「作ってあじわう 絵巻物の世界」



「オオクワガタの生態観察
～黒いダイヤを育てよう～」

授業内容

8月18日（火）

タイトル：「ワニの化石レプリカを作ろう」

講 師：西岡 佑一郎（大阪大学総合学術博物館）

参加人数：20人

概 要：大阪大学総合学術博物館には、大学内から見つかったマチカネワニ全身の実物化石が展示されています。このワニは、今から約45万年前(氷河期)の大阪にいた巨大なワニで、その発見は日本だけではなく、世界中の古生物学者の注目を集めました。今回皆さんには、実際にマチカネワニの歯のレプリカを作成してもらい、古生物学者の研究を体験してもらいます。

8月19日（水）

タイトル：「作ってあじわう 絵巻物の世界」

講 師：橋本 遼太 氏（大阪大学大学院文学研究科）

参加人数：6人

概 要：奈良の信貴山の命蓮みょうれんというえらいお坊さんの不思議なチカラ。なんと！UFOのように鉢を空中に飛ばす超能力をもっていました！それを描いた信貴山縁起絵巻は、数ある絵巻物のなかでも国宝に指定されています。簡単な‘ミニチュア信貴山縁起絵巻’を、みなさんに実際に作ってもらうことで、絵巻の仕組みを理解し、画家がどんなところをみせたいと工夫したかを、いっしょに考えましょう。

8月20日（木）

タイトル：「オオクワガタの生態観察～黒いダイヤを育てよう～」

講 師：生物研究会（大阪大学公認学生団体）

参加人数：20人

概 要：日本最大級のクワガタムシであるオオクワガタの生態や形態の観察、飼育方法などを紹介します。オオクワガタの生態を通して皆さんにもっと昆虫に興味を持っていただければと思います。1人1匹幼虫をお渡ししますのでぜひ本物を飼育観察してみてください。

6. 阪大生がつくった展覧会 2015 ベスト

期 間：2015 年 10 月 16 日（金）～ 2015 年 11 月 20 日（金） [A 日程]

2015 年 12 月 14 日（月）～ 2016 年 1 月 22 日（金） [B 日程]

会 場：大阪大学会館 3F 歴史展示室

概 要：

2010 年度より開講している博物館学実習では、受講生が A・B 各日程 4 班ずつに分かれて模擬展示を企画・実施しています。2013 年度末よりその一端を大阪大学総合学術博物館のホームページに掲載していますが、2014 年度から、優秀な展示を歴史展示室にて一般に公開することにしました。2015 年度は、教員・受講生による投票の結果、女流水墨画家・松本奉山作品を扱った A-2 班および B-2 班が最優秀賞に選出されました。2015 年 12 月 16 日には、両班員が、松本奉山水墨画会の皆様のご協力を得て、ワークショップとミュージアムトークを行いました。

展示概要：

[A 日程] 松本奉山コンチェルト—墨の、調べ。—

実直な画面の奥に、クレッシェンドする若い情熱を秘めた初期作風。力強く叩きつけるように、フォルテの筆さばきでダイナミックに描く渡欧米期。そして晩年、淡いピアニッシモの点描で表された光と風。

1925 年、愛媛県今治市に生まれた松本奉山は、その生涯で何度も渡欧米し、多くの水墨画を異国 の地で描きました。1942 年に松本尚山に入門し、「墨」の世界を知った奉山は、古く中国画の伝統に縛り付けられたままの水墨画の在り方に疑問を覚え、決まりきった構図、描法にこだわることを嫌います。初めてアメリカに渡った 1963 年、そこで見た大自然の美しさに胸をうたれ、彼女は、目にしたままの美しさを大胆に墨で描くことを知りました。そうして得られた、自由なみずみずしい水墨画は、海外でも高く評価され、水墨画というジャンルを世界へはばたかせる大きな足掛かりとなりました。

奉山が、享年 84 歳で亡くなるまで描き続けた多くの作品は、様々なディナーミクの筆さばきであらわされ、そのつど表情を変えます。それはまるで、オーケストラを背後にたずさえ彼女が奏でる協奏曲のよう。この展覧会では、そんな奉山のコンチェルトを、渡米前期から晩年にかけた約 10 点を通して、3 楽章に分けて展観します。

[B 日程] 鳩海 —松本奉山琵琶湖の風景—

琵琶湖—遠く有史以前に誕生し、いまに至るまで数百万年もの間、人々に“いのちの力”を与え続けてきた母なる湖—は、古来「鳩海(におのうみ)」と呼ばれ、私たちと長く共にあります。

女流水墨画家・松本奉山（1925 - 2010）は、日本のみにとどまらず世界中の風景を描き、水墨画界に新しい風を吹き込みました。“水の風景”をこよなく愛した奉山は、「琵琶湖百景」の連載（毎日新聞）を行ったほか、しまなみ海道開通時にも数多くの作品をのこしています。

今回展覧会で取り上げる『みず紀行』は、そうした奉山の描く水の風景に感銘を受けた毎日新聞編集局次長からの熱烈なラブコールによって実現した連載であり、2000 年 4 月から 2001 年 3 月までの全 15 回、奉山の描く琵琶湖の風景に、共に旅をした記者の紀

行文を併せて連載され、好評を博しました。

迷いなく流れる筆はこびと、ほのかであざやかな色彩からは、奉山の手でしか写しとることのできない琵琶湖のやわらかな“いのちの力”が、見る者的心に温かく沁み込んでくるようです。

今回の展覧会では、その『みず紀行』からとくに親しみやすい作品を厳選し、展示いたします。

関連企画：

ワークショップ

2015年12月19日(土) 「チャレンジ！水墨画－肌で感じる墨の濃淡－」

参加者数：20人

講師：松本奉山水墨画会

ミュージアムトーク

2015年12月19日(土) 「ミュージアムトーク－松本奉山を語る－」

来館者数：20人

講師：松本奉山水墨画会、展示実習優秀班メンバー（A・B両日程合同）



阪大生がつくった展覧会
2015ベスト -A 日程-

むら
本
ヨンチエルト
ムラムラ

墨の、調べ。

2015年
10月16日(金)-11月20日(金)
大阪大学会館3階 歴史展示室
入場無料

- 開館時間 10時30分-17時
- 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始
- ※大学祭期間中の11月1日(日)、2日(月)、
3日(火・祝)は閉室。
- 主催 大阪大学総合学術博物館

「水墨画には流れが必要だ。止まつてはならない。」

私の体にはニューヨーク以来、何かのリズムが入っている。

実直な画面の奥に、クレツシェンドする若い情熱を秘めた初期作風。力強く叩きつけるよう、フォルテの筆さばきでダイナミックに描く渡欧米期。そして晩年、淡いピアニッシモの点描で表された光と風。

「Trees and buildings」1963-65頃



※すべて大阪大学総合博物館所蔵

「Sunset in stockholm」1981頃



「水紀行」1993頃

奉山が、享年八四歳で亡くなるまで描き続けた多くの作品は、様々なディナーミックの筆さばきであらわされ、そのつど表情を変えます。それはまるで、オーケストラを背後にたずさえ彼女が奏でる協奏曲のよう。この展覧会では、奉山の画業を、初期、欧米への旅、帰国後の三つの時期に分類し、

奉山が、享年八四歳で亡くなるまで描き続けた多くの作品は、様々なディナーミックの筆さばきであらわされ、そのつど表情を変えます。それはまるで、オーケストラを背後にたずさえ彼女が奏でる協奏曲のよう。この展覧会では、奉山の画業を、初期、欧米への旅、帰国後の三つの時期に分類し、

ワークショップ&ミュージアムトーク 2015年12月19日(土)

■チャレンジ！水墨画

一肌で感じる墨の濃淡

松本奉山水墨画会の面々を講師にお招きし、水墨画体験をします。

■ミュージアムトーク—松本奉山を語る

水墨画家松本奉山作品を、松本奉山水墨画会の面々と優秀班のメンバーが解説します。

※詳しくは博物館のHPをご覧ください。



交通のご案内

大阪大学会館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山1-13

(TEL:06-6850-6715)

■阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩15分

■大阪モノレール「柴原駅」下車 徒歩15分



大阪大学総合学術博物館

Museum of Osaka University

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

TEL 06-6850-6284

ほの夜も秋は名まへう



松本奉山「近江八幡・水郷」
大阪大学総合学術博物館蔵

入鳥 の 海

風琵松
景琶本
湖奉の山

2015年12月14日(月)―2016年1月22日(金)

大阪大学会館3階 歴史展示室

午前10時30分―午後5時 土日・祝日休館

*年末年始(12月27日-1月4日)は閉室

入場無料

主催: 大阪大学総合学術博物館

7. 專任教員活動報告

2015 年度 教員実績表

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

総合学術博物館 館長 永田 靖

研究・教育部 資料基礎研究系
・准教授 高橋 京子
・特任助教(常勤) 高浦佳代子
資料先端研究系
・教 授 上田 貴洋
・准教授 豊田 二郎
・准教授 宮久保圭祐
資料情報研究系
・教 授 橋爪 節也
・助 教 横田 洋

資料部 特任講師(常勤) 伊藤 謙

教授 永田 靖

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
1 & 2 ・ 学部	演劇学演習
1 & 2 ・ 学部	演劇学講義
1 & 2 ・ 学部	演劇学演習
1 & 2 ・ 博士前期	演劇学演習
1 & 2 ・ 博士前期	演劇学講義
1 & 2 ・ 博士前期	演劇学演習
通年・博士後期	演劇学特殊演習
1 & 2 ・ 博士後期	演劇学特殊講義
1 & 2 ・ 博士後期	演劇学特殊演習
1 ・ 博士前期、修士	アート・メディア史講義
1 & 2 ・ 修士	アート・メディア論修了研究演習
1 & 2 ・ 博士前期、修士	アート・プロデュース論演習
1 & 2 ・ 博士前期、修士	芸術計画論演習
2 ・ 学部	演劇学演習
1 & 2 ・ 博士前期、修士	芸術環境論講義

学生指導

学 生 数 (留学生含む)	留 学 生 数	共同・分担した指導教官人数
博士前期・博士後期 7人	3人	0人
修士課程 3人	1人	0人
学部 17人	1人	1人

【研究活動】

学術論文

論 文 名	著 者 名	雑 誌	号・巻・頁	発 行 年 月
自文化摂取演劇と再文脈化の手法—マイケルホリド演出『スペードの女王』を題材に	永田 靖	待兼山論叢	49号芸術篇・59-78	2016年2月
雲門舞集の新しい劇場	永田 靖	Arts and Media	Vol. 6・274-277	2016年3月
「伝統」の現代化—林文中舞踊団『小南管』シリーズをめぐって	永田 靖	演劇学論叢	第14号・59-78	2015年4月

学術講演会など

講 演 タ イ プ ル	場 所	年 月 日	備 考
演劇と公共性	桜美林大学	2015年6月20日	
伝統芸術の現代化	大阪大学中之島センター	2015年6月28日	

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
Geography of Inter-Asian Theatre; Towards a New Perspective of Asian Theatres	IFTR Hyderabad Conference	July 6	
Place of Performance, General Discussion	Performance Studies international, Tohoku Cluster, Aomori Prefectural Museum	29 Aug. ~1 Sep.	
文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業《声なき声、いたるところにかかる声、そして私の声》芸術祭「伝統芸術の現代化」プロジェクトについて	大阪大学総合学術博物館3階セミナー室	2015年12月15日	
豊中オリジナル演劇『POTAL』を語る	大阪大学21世紀懐徳堂スタジオ	2016年1月8日	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費補助金基盤（B）	永田 靖	2014年4月～2018年3月	継続
文化庁大学を活用する文化芸術推進事業	永田 靖	2013年4月～2016年3月	新規（年度更新）

【社会貢献、管理運営等】

学内の各種委員会等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
総長参与	2015年8月26日	2017年8月25日	
21世紀懐徳堂学主	2015年8月26日	2017年8月25日	
適塾記念センター長	2015年8月26日	2017年8月25日	
ハラスマント委員会	2015年8月26日		

学外各種委員会等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本演劇学会	会長		継続
国際演劇学会アジア演劇WG	代表		継続
藝術学関連学会連合委員会	委員		継続
豊中市文化芸術振興審議会	委員		継続
兵庫県立尼崎青少年創造劇場企画運営委員会	委員		継続
吹田文化振興事業団	理事		継続

准教授 高橋 京子

【教育活動】

担当授業

学 期・学 部・学 年	科 目 名
1 学期・薬学部・4回生	漢方薬学(分担)
薬学部・薬学科(6年制)・3回生	長期課題研究
薬学部・薬学科(6年制)・5回生	長期課題研究
薬学部・薬科学科(4年制)・4回生	卒業研究
1 学期 薬学研究科	伝統医薬解析学特別講義
通年 薬学研究科(修士課程)	創成薬学ゼミナール1
通年 薬学研究科(博士課程)	医療薬学ゼミナール3
通年 薬学研究科(博士課程)	特別演習
共通教育基礎セミナー	博物館体験コース(分担)

学生指導

学 生 数(留学生含む)	留 学 生 数	共同・分担した指導教官人数
7名	0名	0名

【研究活動】

学術論文

論 文 名	著 者 名	雑 誌	号・巻・頁	発 行 年 月
Longgu (Fossilia Ossis Mastodi) alters the profiles of organic and inorganic components in <i>Keishikaryukotsuboreito</i>	Oguri K. et al	J Nat Med,	DOI 10.1007/s11418-015-0952-2	2015年
Impaired energy metabolism of the taurine-deficient heart.	Scaffer SW. et al	Amino Acids	DOI: 10.1007/s00726-015-2110-2	2015年
国指定文化財史跡 森野旧薬園	高橋 京子	薬用植物研究	37 : 33-40	2015年
森野旧薬園から発信する生薬国産化のストラテジー	高橋 京子	日本小児東洋医学会誌	28 : 3-14	2015年
日本の地質学黎明期における歴史的地質資料——梅谷亨化石標本群(大阪大学適塾記念センター蔵)についての考察	伊藤 謙 他 (11名 8番目)	日本研究	51 : 157-167	2015年
—				
継承される生薬標本の意義:生薬国際標準化と薬物文化	高橋 京子	薬史レター	74 : 4	2015年
伝統的生薬品質管理技術の可視化—大伏製薬独自の甘松選別法—	伊藤 謙 他 (12名 5番目)	薬史学雑誌	50 : 89-93	2015年

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
「薬草の博物誌：森野旧薬園と江戸の植物図譜」 溫故知新：森野旧薬園から学ぶ生薬国産化	高橋 京子(共著)	LIXIL BOOKLET	頁 30-32	2015年3月
大和国宇陀郡松山町 森野家文書—成巻文書—森野吉野葛本舗・森野旧薬園伝来史料—	村田 路人、高橋 京子 監修、松永 和浩・東野 将伸・清水 香穂・高浦(島田)佳代子 編集	適塾記念センター 発行	頁 368	2016年3月
日本薬史学会編「薬学史事典」分担「緒方洪庵の薬箱」(日本の薬学史各論 26)、「適々斎塾と大阪除痘館を設けた緒方洪庵」(日本の医療史各論 15)	(編集代表：奥田 潤、 西川 隆) 各論:高橋 京子	株式会社薬事日報社 (頁数：880)	頁 153-154 頁 481-483	2015年3月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
「薬草のタイムカプセル 森野旧薬園受け継がれる280年前の大和の植生」	月刊大和路 ならら 「大和漢方薬紀行 薬草栽培とくすりの歴史」	2015年6月号特集 18-21頁

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
森野旧薬園から学ぶ生物多様性の原点と実践	奈良県宇陀市中央公民館(奈良)	2015年4月5日	奈良県医療政策部薬務課開催

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
森野初代藤助通貢賽郭真写「松山本草」：森野旧薬園から学ぶ生物多様性の原点と実践漢方のあゆみ～江戸本草から現代まで～	第66回日本東洋医学会学術総会(富山)	2015年6月14日	スポンサー：セミナー
森野旧薬園から発信する生薬国産化のキーテクノロジー	日・中・韓国際薬史フォーラム 日本薬史学会2015年会(奈良)	2015年11月21日	シンポジウム
医療文化財研究：遷移放射テラヘルツ分光法を用いた化石由来生薬『竜骨』の特性評価	第10回博物科学会金沢大学	2015年6月25～26日	口頭発表
地域特産果樹 <i>Diospyros kaki</i> を活用した生薬国産化研究：奈良県の事例	第32回和漢医薬会富山国際会議場	2015年8月22～23日	口頭発表
『緒方洪庵の薬箱』由来生薬の生薬学的研究：基原と実地臨床	第32回和漢医薬会富山国際会議場	2015年8月22～23日	口頭発表
国史跡・森野旧薬園所蔵『森野藤助繁通編纂・草木葉譜』の全容可視化と修復保存	文化財保存修復学会第37回大会(京都)	2015年6月27～28日	口頭発表
大阪大学所蔵藤澤友吉氏寄贈標本：生薬品質標準化資料としての意義	第62回日本生薬学会、岐阜	2015年9月11～12日	口頭発表
生薬「柿蒂」の薬能及び薬用部位に関する史的深化	日・中・韓国際薬史フォーラム 日本薬史学会2015年会(奈良)	2015年11月21日	ポスター発表
「唾液アミラーゼ活性による禁煙時ストレスの把握	第55回中部防衛衛生学会、舞鶴市商工観光センター(京都・舞鶴)	2016年2月25日	口頭発表
メンタルヘルスケア研究：唾液アミラーゼによる職業ストレス評価	日本薬学会第136年会 横浜	2016年3月27～29日	口頭発表

タイトル	場所	年月日	備考
地域特産果樹を活用した生薬国産化研究：シティ(KAKI CALYX)の品質評価	日本薬学会第136年会 横浜	2016年3月27~29日	口頭字発表
化石由来生薬『竜骨』のサスティナブルユース研究：煎剤調製時の役割	日本薬学会第136年会 横浜	2016年3月27~29日	口頭発表
大阪大学所蔵ケシ関連標本の意義：二反長音 蔵作ケシ品種改良研究資料	日本薬学会第136年会 横浜	2016年3月27~29日	口頭発表

報道

タイトル	場所	年月日	備考
「松山本草」複製初公開 - 宇陀・森野旧薬園	奈良新聞	2015年5月3日	
国史跡・森野旧薬園所蔵『森野藤助繁通編纂・草木葉譜』	奈良テレビ	2015年5月10日	
情熱の薬草園 300年健在 森野旧薬園(時の回廊)	日本経済新聞	2015年5月22日	
藍と薬のめぐりあい—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—	マイシティ徳島	2015年5月3日	
藍と薬のめぐりあい—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—	鍼灸柔整新聞デジタル版	2015年8月25日	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費補助金[基盤B]	高橋 京子	2013~2015年	継続
科学研究費補助金[基盤B]分担	中川 光弘	2013~2015年	継続
鹿島学術振興財団研究助成	松永 和浩	2014~2016年	継続

寄付

寄付名	寄付者名	金額	受入年月	継続/新規
高橋京子薬用資源研究助成金	長江 義明	200万円	2015年7月	新規
高橋京子薬用資源研究助成金	森野 薫子	200万円	2016年3月	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
藍と薬のめぐりあい—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—ミュージアムレクチャー 「緒方洪庵の薬箱が語る世界:近世の医療とセルフメディケーション」	徳島市立徳島城博物館	徳島市立徳島城博物館・ 大阪大学総合学術博物館 展覧会	2015年4月29日
森野旧薬園と『松山本草』:薬草のタイムカプセル	宇陀市中央公民館	宇陀市講演会	2015年5月10日
大和薬種のすすめ:伝統技術が支える品質	宇陀市中央公民館	宇陀市講演会	2015年5月30日
森野旧薬園の生薬栽培の伝統と継承	宇陀市立会館農林会館	宇陀市観光協会総会教育 講演	2015年6月30日
薬食同源の観点から見た酒～「酒は百薬の長」を科学する	大阪大学中之島センター	第8回適塾講座	2015年7月18日
藍と薬のめぐりあい—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—ミュージアムレクチャー 「緒方洪庵の薬箱が語る世界:近世の医療とセルフメディケーション」	大阪大学総合学術博物館	夏期特集展覧会	2015年8月1日

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
森野旧薬園至宝『松山本草』の世界～薬草栽培の叡智～	LIXIL ギャラリー（グラントフロント大阪南館タワーA12F）	LIXIL ギャラリー講演会	2016年1月23日
漢方今昔物語 生薬国産化のキーテキノロジー～教えます！漢方薬活用術～	OMOYA 東洞院	香川県立丸亀高等学校同窓会 in 京都	2016年2月27日

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
岡山県立岡山芳泉高等学校(46名)	2015年8月3日	
学校法人 土佐高等学校(23名)	2015年8月7日	高浦と分担
西宮自然の会(8名)	2015年11月18日	

相談

相談分類	開始年月	終了年月
江戸期医療事情・薬草(奈良県医療政策部)	2013年12月	継続中～

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
大阪大学グローバルコラボセンター	2010年4月	2015年3月	継続
大阪大学適術記念センター	2011年4月		継続

学外各種委員等(地方公共団体や学協会など)

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本薬理学会	学術評議員		継続
富山大学和漢医薬総合研究所	特任研究員	2011年4月	継続
科学研究費委員会	専門委員	2010～2012年	継続
日本薬学会近畿支部会	委員		継続
高知県立牧野植物園	上席客員研究員～アドバイザー	2013年～	継続
日本東洋医学会生薬原料委員会	委員	2014年～	継続

特任助教(常勤) 高浦 佳代子

【教育活動】

担当授業

学 期・学 部・学 年	科 目 名
1 学期集中・知のジムナスティックス科目・修士、博士	実践ミュージアムコミュニケーション学

【研究活動】

学術論文

論 文 名	著 者 名	雑 誌	号・巻・頁	発 行 年 月
Impaired energy metabolism of the taurine-deficient heart	Stephen W Schaffer et al	Amino Acids	48・ 549-558	2016
Longgu (Fossilia Ossis Mastodi) alters the profiles of organic and inorganic components in Keishikaryukotsuboreito.	Kazuki Oguri et al	J. Nat. Med.	未定	2016

著書

著 書 名	著 者 名	出 版 社	頁 数	発 行 年 月
大和国宇陀郡松山町森野家文書—成卷文書—森野吉野葛本舗・森野旧薬園伝来史料—	監修:村田 路人、高橋 京子 編集:松永 和浩、東野 将伸、清水 香穂、高浦(島田)佳代子	(発行:大阪大学適塾記念センター)	368	2016年3月31日

研究(学会)発表など

タ イ ド ル	場 所	年 月 日	備 考
『緒方洪庵の薬箱(阪大蔵)』研究:「瞿粟」及びアヘン関連薬の実地臨床	第66回日本東洋医学会学術総会(富山)	2015年6月12~14日	口頭発表
医療文化財研究:遷移放射テラヘルツ分光法を用いた化石由来生薬『竜骨』の特性評価	第10回博物科学会(金沢)	2015年6月25~26日	口頭発表
国史跡・森野旧薬園所蔵『森野藤助繁通編纂・草木薬譜』の全容可視化と修復保存	文化財保存修復学会第37回大会(京都)	2015年6月27~28日	口頭発表
地域特産果樹 <i>Diospyros kaki</i> を活用した生薬国产化研究:奈良県の事例	第32回和漢医薬学会学術大会(富山)	2015年8月22~23日	口頭発表
『緒方洪庵の薬箱』由来生薬「瞿粟」の生薬学研究:基原と実地臨床	第32回和漢医薬学会学術大会(富山)	2015年8月22~23日	口頭発表
大阪大学所蔵藤澤友吉氏寄贈標本:生薬品質標準化資料としての意義	日本生薬学会第62回年会(岐阜)	2015年9月11~12日	口頭発表
楠木歩美、高浦佳代子、高橋京子、生薬「柿蒂」の薬能及び薬用部位に関する史的深化	日本薬史学会2015年会(奈良)	2015年11月21日	ポスター発表
メンタルヘルスケア研究:唾液アミラーゼ活性による職業ストレス評価	日本薬学会第136年会(横浜)	2016年3月26~29日	口頭発表

タイトル	場所	年月日	備考
大阪大学所蔵ケシ関連標本の意義：二反長音蔵作ケシの品種改良研究資料	日本薬学会第136年会 (横浜)	2016年3月26~29日	口頭発表
地域特産果樹を活用した生薬国産化研究：シティ(KAKI CALYX)の品質評価	日本薬学会第136年会 (横浜)	2016年3月26~29日	口頭発表

報道

タイトル	場所	年月日	備考
江戸期の薬事情知る	読売新聞(朝刊)	2015年8月22日	
ちょっとおじやまします 『藍と薬のめぐりあい—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—』展	鍼灸柔整新聞	2015年8月25日	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究(B) 「アクションリサーチによる医療文化財資源解析法の革新：緒方洪庵の実地臨床」	高浦 佳代子	2015年4月～2018年3月	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
再発見！森野旧薬園 講演会（第2回） 「五代森野藤助繁通編纂『草木葉譜』修復と保存」	宇陀市中央公民館	森野旧薬園	2015年5月24日

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
学校法人 土佐高等学校(23人)	2015年8月7日	
Hong Kong Institute of Vocational Education (34人)	2015年8月19日	英語案内

教授 上田 貴洋

【教育活動】

担当授業

学 期 ・ 学 部 ・ 学 年	科 目 名
1 学期・共通教育科目[全学部・全学年]	博物館体験コース（共坦）
2 学期・理学部化学科・1年生	化学入門セミナー2（共担）
通年・理学部化学科・4年生	化学特別研究
通年・理学部化学科・4年生	化学文献調査
1 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学(I)（共坦）
1 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(I)（共坦）
1 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(II)（共坦）
2 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(I)（共坦）
2 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(II)（共坦）
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーI
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーII
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーIII
大学院横断科目・学際融合教育科目（集中）	実践ミュージアムコミュニケーション学（共担）

学生指導

学 生 数 (留学生含む)	留 学 生 数	共同・分担した指導教官人数
2名	0名	2名

学位論文審査等

学 位申請者および論文名	主査・副査の別
前田 譲章 切粉からのシリコンナノ粒子の創製と応用（博士学位論文）	副査

【研究活動】

学術論文

論 文 名	著 者 名	雑 誌	号・巻・頁	発 行 年 月
Molecular Motion of Alcohols Adsorbed in ACF Hydrophobic Nanoslits as Studied by Solid-State NMR	H. Omichi, T. Ueda*, T. Eguchi	Adsorption	21(4), 273-282	2015年4月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タ イ ド ル 等	掲 載 誌 他	報 道 年 月
大阪大学総合学術博物館—阪大の歴史・研究とマチカネワニ化石を味わい尽くせる博物館—	理科教室, 59(1), 78-79	2016年1月

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
Phase transition of molecular assembly confined in metal-organic frameworks—Approach from the dynamic aspect of molecules—	7th The Pacific Basin Conference on Adsorption Science and Technology (PBAST-7), Xiamen, China	2015年9月24～27日	招待講演
Solid-state NMR study of Structure and Dynamics of 2-Methylimidazolate linkers triggered by Molecular Adsorption	7th The Pacific Basin Conference on Adsorption Science and Technology (PBAST-7) , Xiamen, China	2015年9月24～27日	ポスター
固体NMRで見る多孔性配位高分子ZIF-8のリンカーダイナミクス	第29回日本吸着学会研究発表会（徳島、徳島大学）	2015年11月19～20日	口頭発表
多孔性配位高分子ZIF-8の蒸気吸着速度とその温度依存性	第29回日本吸着学会研究発表会（徳島、徳島大学）	2015年11月19～20日	ポスター
多孔性配位高分子ZIF-8のリンカーダイナミクスに及ぼす分子吸着の影響	日本化学会 第96春季年会（同志社大学、京都）	2016年3月24～27日	口頭発表
多孔性配位高分子ZIF-8の蒸気吸着速度とその温度依存性	日本化学会 第96春季年会（同志社大学、京都）	2016年3月24～27日	口頭発表

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）挑戦的萌芽研究「細孔分析法を用いた土器類の新規評価法の開発」（課題番号 15K12445）	上田 貴洋	2015～2017年度	新規

【社会貢献、管理運営等】

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
奈良市立一条高等学校 (42名)	2015年7月10日	

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
図書館委員会委員	2012年4月		継続
総合図書館図書選定小委員会委員	2012年4月		継続
計画・評価委員会 委員	2014年4月		継続
男女共同参画・社学連携室室員（副理事）	2015年9月		新規
21世紀懐徳堂運営委員会 副委員長	2015年11月		新規

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本吸着学会 運営委員会	運営委員	2014年4月～	継続
日本吸着学会	評議員	2015年4月～	新規
豊中市学校教育審議会委員	委員	2015年6月～	新規

准教授 豊田 二郎

【教育活動】

担当授業

学 期・学 部・学 年	科 目 名
1・工・1	化学概論
1・医／薬・2	化学実験
1・理・2	自然科学実験 2 化学
1・全学部・全学年	博物館体験コース
1・理・M1	核磁気共鳴分光学(I)

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講 演 名・題 目	場 所	主 催 者 名	年 月 日
雪は天からの手紙である	大阪大学待兼山修学館セミナー室	大阪中学生サマー・セミナー推進協議会	2015年8月4日

団体見学の説明等

団 体 名 (人數)	説 明 日	備 考
大阪信愛女学院 (50)	2015年7月9日	
須磨学園 (42)	2015年7月24日	
大阪府北部コミュニティーカレッジ(22)	2015年10月9日	
シグマ同期会(12)	2015年11月2日	
兵庫県立宝塚北高校(42)	2015年11月20日	
応化41会(29)	2016年3月31日	

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就 任 年 月	退 任 年 月	継続/新規
理学研究科化学専攻 Web 広報委員会・ネット部会委員	2015年4月1日	2016年3月31日	継続

准教授 宮久保 圭祐

【教育活動】

担当授業

学 期・学 部・学 年	科 目 名
1 学期・医学部医学科・1 年	化学概論
1 学期・歯学部歯学科・2 年 基礎工学部化学応用化学科・2 年	共通教育専門基礎教育科目・化学実験
2 学期・医学部保険学科・1 年 基礎工学部システム工学科・2 年	共通教育専門基礎教育科目・化学実験
1 学期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学 (共担)

【社会貢献、管理運営等】

団体見学の説明等

団 体 名 (人數)	説 明 日	備 考
GNP80(工学部精密工学科同窓会) (23)	2015年5月25日	
阪大溶接工学科46年卒同窓会 (18)	2015年6月27日	
金光八尾高等学校 (40)	2015年7月13日	
日京都府立鳥羽高等学校 PTA (25)	2015年7月29日	
上宮太子高校 (70)	2015年9月2日	
阪大経済学部13期卒後50年の集い (13)	2015年10月23日	
文化散歩の会 (29)	2015年11月7日	
伏尾台街かどサロンウォーキングクラブ (10)	2015年12月16日	
兵庫県立篠山鳳鳴高等学校 (30)	2015年12月17日	
さくらサイエンスプラン (16)	2016年3月7日	

教授 橋爪 節也

【教育活動】

担当授業

学 期・学 部	科 目 名
1 学期・文学部	東洋美術史演習 [共担]
1 学期・文学部	日本美術史演習
1 学期・共通教育科目	博物館体験コース [共担]
1 学期・文学研究科博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習 [共担]
1 学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習
1 学期・文学研究科博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習 [共担]
1 学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習
1 学期・知のジムナスティックス科目	実践ミュージアムコミュニケーション学 [共担]
2 学期・文学部	東洋美術史演習 [共担]
2 学期・文学部	日本美術史講義
2 学期・文学部	日本美術史演習
2 学期・文学研究科博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習 [共担]
2 学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史講義
2 学期・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習
2 学期・文学研究科博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習 [共担]
2 学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊講義
2 学期・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習
通年・文学部	日本美術史演習(見学演習 1) [共担]
通年・文学部	日本美術史演習(見学演習 2) [共担]
通年・文学部	博物館学(学内実習) [共担]
通年・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習(見学演習 1) [共担]
通年・文学研究科博士前期課程	日本美術史演習(見学演習 2) [共担]
通年・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習(見学演習 1) [共担]
通年・文学研究科博士後期課程	日本美術史特殊演習(見学演習 2) [共担]

学生指導

学 生 数 (留学生含む)	留 学 生 数	共同・分担した指導教官人数
24名 文学部（学部13）・文学研究科 (前期課程4、後期課程7)	1名	3名

学位論文審査等

学 位 申 請 者 お よ び 論 文 名	主査 / 副査
修士論文 中村 真菜美「谷文晁の風景表現に就いて—「東海道勝景図」を中心に」	主査
修士論文 波瀬山 祥子「曾我蕭白と画題」	副査
修士論文 松本 郁「平安時代の女神像の服飾について」	副査
博士論文 三本 周作「仏像の金属製莊嚴具をめぐる諸問題—鎌倉時代の事例を中心として—」	副査
博士論文 西谷 功「鎌倉時代における宋代仏教文化受容の研究—泉涌寺流を中心として—」	副査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
大阪学	帝塚山学院大学	2015年4~5月
美の感動を生む場所—美術館	放送大学大阪学習センター（放送大学学園）	2015年10月1日～2016年3月31日
古美術研究旅行	愛知県立芸術大学油絵科	2015年10月

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	巻・号・頁	発行年月
北野恒富の“逆説”再考—新しい画家像を求めて—	橋爪 節也	「北野恒富と中河内—知られざる大阪画壇の発信源」大阪商業大学商業史博物館	頁：38-41	2015年10月
文楽の将来を考えるフォーラム座談会	権藤 芳一/橋爪 節也/阪口 弘之/後藤 静夫/笠谷 和比古/河内 厚郎	「歌舞伎研究と批評」特集—曾我物の成立と展開歌舞伎学会	56号	2016年3月31日

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
『木村蒹葭堂全集 第八巻 蒹葭堂顕彰・年譜・研究文献目録抄』	水田 紀久・橋爪 節也 監修	株式会社藝華書院	406頁	2015年9月28日
『待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室』大阪大学総合学術博物館叢書12	橋爪 節也・横田 洋 編著	大阪大学出版会	96頁	2016年3月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
AS TIME GOES BY ~時の過ぎゆくままに～ 黛敏郎《BUNRAKU》 トザイトーザイ あいつとめます大夫はチェロ奏者	MtS Publishing Factory (WHOLE EARTH MAGAZINE FM COCOLO 巻：3 号：9 頁：36)	2015年4月
なにわの画伯 成瀬国晴氏に聞く⑫ 粹筆 ～心おもむくままに～	株式会社 新風書房 (大阪春秋 号：158 頁：101-103)	2015年4月
エッセイ 春 季節の言葉 “春風や 堤長うして家遠し”	(一般)阪神高速地域交流センター (阪神ハイウェイ 号：198 頁：表記なし)	2015年4月
おおさかKEY わーど 第56回 ライオン橋物語 一大阪の誇りを今に伝える名橋—	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」 号：389 頁：3)	2015年4月
「絵を飾る人のキモチ」 第6回 すべて世は事もなし、か? As Time Goes By 私の部屋を飾るもの…むかし／いま	積水ハウス (SUMUFUMULAB COLUMN[いきかたのカタチ] Web掲載)	2015年4月

タ イ ド ル 等	報 道 機 関 名	報 道 年 月
おおさかKEY わーど 第57回 しる人ぞ知る汁屋の汁 一オダサクも愛したB級グルメ	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:390 頁:3)	2015年5月
おおさかKEY わーど 第58回 『大阪ホフマン物語』というのはいかが 浅草だけではないオペラの町	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:391 頁:3)	2015年6月
選択の意味 大阪住民投票を考える 上 「大大阪」のプライド	新日本海新聞社 (大阪日日新聞 2015年5月24日 頁:6)	2015年5月
選択の意味 大阪住民投票を考える 上 「大大阪」のプライド	高知新聞社 (高知新聞 2015年5月26日 頁:10)	2015年5月
選択の意味 大阪住民投票を考える 上 「大大阪」のプライド	徳島新聞社 (徳島新聞 2015年5月27日 頁:11)	2015年5月
“美”は絵筆から——誰がいちばん天神祭を描いたか?	つひまぶ実行委員会 (北区魅力発信フリーペーパー「つひまぶ」号:5)	2015年6月
AS TIME GOES BY ~時の過ぎゆくままに~ チャビちゃんは天使になったンダにや ねこなき世界も音楽はねこ尽くし	MtS Publishing Factory (WHOLE EARTH MAGAZINE FM COCOLO 卷:3 号:10 頁:36)	2015年7月
エッセイ 夏 季節の言葉 蟻一匹 炎天下	(一般)阪神高速地域交流センター (阪神ハイウェイ 号:199 頁:表記なし)	2015年7月
なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く⑬ あぶな絵 ~エロとは何かを考える~	新風書房 (大阪春秋 号:159 頁:101-103)	2015年7月
おおさかKEY わーど 第59回 「残念石」はいつまで残念か	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:392 頁:3)	2015年7月
おおさかKEY わーど 第60回 夏の味覚と文学の味わい 上司小剣の「鱧の皮」	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:393 頁:3)	2015年8月
「絵を飾る人のキモチ」 第7回 “モノ”こそ物狂おしけれ 立体物を飾るキモチ	積水ハウス (SUMUFUMULAB COLUMN[いきかたのカタチ] Web掲載)	2015年8月
おおさかKEY わーど 第61回 負けても勝ち 心の中の真田十勇士	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:394 頁:3)	2015年9月
おおさかKEY わーど 第62回 文豪・ミーツ・画伯 谷崎潤一郎と北野恒富	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」号:395 頁:3)	2015年10月
AS TIME GOES BY ~時の過ぎゆくままに~ レオ・フェレの『悪の華』が好きである 秋の御堂筋を“エアー・ヴィオロン”でお散歩?	MtS Publishing Factory (WHOLE EARTH MAGAZINE FM COCOLO 卷:3 号:11 頁:44)	2015年10月
なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く⑭ キャラクター ~かわいい系~	新風書房 (大阪春秋 号:160 頁:101-103)	2015年10月
大阪の文化再生に向けて・私はこう思う 大阪を愛する市民のプライドはどこに?	大阪文化団体連合会 (OCOS 卷:39 号:207 頁:7)	2015年10月

タイトル等	報道機関名	報道年月
北野恒富年譜	大阪商業大学商業史博物館 (北野恒富と中河内 一知られざる 大阪画壇の発信源 頁: 52-55)	2015年10月
おおさかKEY わーど 第63回 おおさかニャンコ尽くし	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」 号: 396 頁: 3)	2015年11月
ダブル選に望む選択再び 芸術は停滞打破に不可欠	産経新聞社 (産経新聞 2015年11月14日 頁: 1)	2015年11月
第69回和歌山県美術展覧会 2015 日本画 論評	和歌山県 (第69回県展 2015 頁: 10)	2015年11月
「絵を飾る人のキモチ」 第8回 なにが目出度いと言って、絵を飾ることが一番目出度い	積水ハウス (SUMUFUMULAB COLUMN[いきかたの カタチ] Web掲載)	2015年12月
おおさかKEY わーど 第64回 オオサカサウダージ	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」 号: 397 頁: 3)	2015年12月
なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く⑯ 「挿絵」の心得	新風書房 (大阪春秋 号: 161 頁: 93-95)	2016年1月
美学な幕切れ 60 天才画家と文豪の幕切れ —それでもしかし、まだ終わっていない—	『上方芸能』編集部 (上方芸能 号: 199 頁: 78)	2016年3月
おおさかKEY わーど 第65回 豆腐料理も大阪から	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」 号: 398 頁: 3)	2016年2月
おおさかKEY わーど 第66回 なにわの春は文学賞	大阪市教育委員会 (生涯学習情報誌「いちょう並木」 号: 399 頁: 3)	2016年3月

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
今東光資料館 開館1周年講演会 今東光と大阪の文学 —河内八尾の発見—	八尾市立青少年センター〔大阪〕	2015年 5月17日	主催 今東光資料館
第47回 大阪大学公開講座 “大大阪イメージ”とメディア・芸術—マンモス都市誕生との相克—	大阪大学中之島センター	2015年 10月7日	
連続講座『北野恒富と中河内—知られざる大阪画壇の発信源—』第3回「よみがえる恒富芸術—大阪画壇の悪魔派と呼ばれた巨匠」	大阪商業大学図書館	2015年 11月21日	主催 大阪商業大学 商業史博物館

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
「阪大生がつくった展覧会 2014 ベスト」展	第 10 回博物科学会 〔石川〕	2015 年 6 月 25～26 日	ポスター発表 連名
『薩州蟲品』の世界 —木村兼葭堂とその交流ネットワーク—	第 10 回博物科学会 〔石川〕	2015 年 6 月 26 日	口頭発表 連名
パネルディスカッション サントリー文化財団研究助成 プロジェクト 第 4 回国際シンポジウム「東アジアにおける大衆的図像の視覚文化論」	同志社大学	2015 年 8 月 22 日	司会
シンポジウム「北野恒富と中河内—知られざる大阪画壇の発信源—」 パネルディスカッション	大阪商業大学	2015 年 11 月 8 日	

報道

タイトル	場所	年月日	備考
「Osaka Socks」② 大阪ファッショングを探せ 江戸時代も派手だった	産経新聞	2015 年 4 月 17 日	コメント掲載
地域住民との交流型ミュージアム目指す	日刊経済	2015 年 4 月 20 日	
「大大阪」90 年(下) 市民の心つかんだ「都市格」	朝日新聞	2015 年 5 月 7 日	コメント掲載
コレクション・トーク〈講演ダイジェスト〉 「憧れの百貨店・商店街と大阪の都市居住文化」	上町台地今昔タイムズ	2015 年 5 月	号外 vol. 3
葦 タべに考える 大阪君のいま、あした	朝日新聞	2015 年 6 月 10 日	コメント掲載
落語×アート×歴史で旅する 中之島タイムトリップ 中之島の歴史を総まくり	月刊島民	2015 年 11 月 1 日	イベント情報 Vol. 88
新聞がリードした大阪の情報発信力 —朝日新聞・毎日新聞夕刊発行 100 年—	朝日新聞	2015 年 11 月 14 日	インタビュー 記事
新聞がリードした大阪の情報発信力 —朝日新聞・毎日新聞夕刊発行 100 年—	毎日新聞	2015 年 11 月 14 日	インタビュー 記事
再見 なにわ文化 30 心躍ったポッペン、張り子	読売新聞	2015 年 12 月 16 日	引用
御堂筋の華 幾星霜	毎日新聞	2015 年 12 月 28 日	コメント掲載
文化 近代都市の基盤→美術館島 集まる文化施設	朝日新聞	2016 年 1 月 4 日	コメント掲載
阪急梅田高架下 司馬遼太郎・桂米朝ら愛した古書のまち、人つなぎ 40 年	読売新聞	2016 年 2 月 23 日	コメント掲載

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続 / 新規
科学研究費補助金：基盤研究(A)「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」 (研究課題番号：15H01874)	五十鈴 利治	2015～2018 年度	新規
科学研究費補助金：基盤研究(B) [分担金] 本草学の新展開：医療文化財の非破壊分析法の開発と復元応用	高橋 京子	2014～2015 年度	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
第 60 回新世紀展 記念講演 モダニズムはここにあり—近代大阪と洋画家たち—	天王寺都ホテル 〔大阪〕	新世紀美術協会	2015 年 6 月 1 日
はびきの市民大学 大学博物館を識る	時とみどりの交流館 〔大阪〕	羽曳野市 市民人 権部 市民協働ふ れあい課	2015 年 6 月 20 日
平成 27 年度大阪連続講座 おおさか時間旅行 一大阪とよばれた時代ー 第 2 回 「昭和 12 年のモダン都市へのタイムトラベルー映画「大大阪観光」の世界ー」	大阪市立中央図書館	大阪市立図書館	2015 年 7 月 18 日
Handai-Asahi 中之島塾 翼のある大阪 ～モダン建築と彫刻	大阪大学中之島セン ター	大阪大学、朝日 カルチャーセン ター	2015 年 9 月 5 日
SUMUFUMULAB コラムニスト×研究員住ムフムセッション<第 23 回> 「部屋とインテリアと食器と道具」	積水ハウス住ムフム ラボ〔大阪〕	積水ハウス	2015 年 9 月 17 日
メインフォーラム 日本を動かす「大阪の底力」	高槻現代劇場	公益社団法人日 本青年会議所	2015 年 9 月 20 日
昭和 12 年の映画「大大阪観光」 ～映像にみるモダン都市・大阪～	上田安子服飾専門学 校〔大阪〕	一般社団法人 大 阪自由大学	2015 年 10 月 1 日
大阪大学総合学術博物館 第 8 回特別展「待兼山少年」スペ シャル・トーク 待兼山少年 最終章 ウクレレ	大阪大学 21 世紀懐徳 堂スタジオ	大阪大学総合学 術博物館	2015 年 11 月 7 日
ナカノシマ大学特別講座 大阪都市魅力創造プロジェクト 「落語×アート×歴史で旅する 中之島タイムトリップ」	大阪市中央公会堂	ナカノシマ大学 事務局	2015 年 11 月 18 日
第 53 回 なにわ芸術祭新人賞選出 新進落語家競演会（審査員）講評	天満天神繁盛亭 〔大阪〕	上方落語協会、 産経新聞社、タ 刊フジ、サンケ イスポーツ、サン ケイリビング 新聞社	2016 年 1 月 15 日
岸和田市教育委員会郷土資料室・平成 27 年度 第 1 回歴史 講座「絵を描く殿さまー企画展「岡部家ゆかりの古文書と 書画」にちなんで」	岸和田市立自泉会館 〔大阪〕	岸和田市	2016 年 2 月 20 日
マナビスト講座 大阪美術学校を語る —矢野橋村の熱き想い—	御殿山生涯学習美術 センター〔大阪〕	御殿山生涯学習 美術センター	2016 年 3 月 2 日

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
unsichtbare Sichtbarkeit 不可視の可視 山本智子展』アーチスト・トーク	コウイチ・ファインアーツ	コウイチ・ファインアーツ	2016年 3月5日
第4回 道頓堀500 勉強会 100年前からさかのぼる、ライブ・エンターテインメントのまち「道頓堀」	難波御堂筋ホール [大阪]	道頓堀商店会	2016年 3月24日

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
館長役職指定各委員会	2011年8月	2015年8月	
埋蔵文化財調査委員会	2011年8月		継続
公開講座運営委員会	2008年4月		継続
アーカイブス運営委員会	2012年10月		
適塾記念センター会議			継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
大正イマジュリ学会	常任委員		継続
大阪市市民表彰選考委員会	選考委員		継続
大阪市経済戦略局 文楽を特色とする地域魅力創出事業有識者会議	委員	2015年	新規
大阪市中央公会堂	文化財保護アドバイザー	2014年4月 ～現在	継続
一般財団法人懐徳堂記念会	評議員		新規
八尾市 今東光資料館	企画展示アドバイザー		継続
堺市展 日本画部門審査委員会	審査委員	2016年	新規
和歌山県展 日本画部門審査委員会	審査委員長	2016年	新規
第53回 なにわ芸術祭新人賞選出 新進落語家競演会審査委員会	審査委員	2016年 1月15日	継続

助教 横田 洋

【教育活動】

担当授業

学 期・学 部・学 年	科 目 名
1 学期・全学教育推進機構・1年	基礎セミナー「博物館体験コース」
通年・文学部・2、3、4年	博物館学（学内実習）

学外での教育活動（集中講義等）

授 業 科 目 名	機 関 名	期 間
音楽と文化	大手前大学	2015年4月～9月
国際社会と日本文化III（伝統芸能）	大阪国際大学	2015年10月～2016年3月
映画の歴史	大手前大学	2015年10月～2016年3月

【研究活動】

著書

著 書 名	著 者 名	出 版 社	頁 数	発 行 年 月
『待兼山少年-大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室』	横田 洋（共著）	森話社	345頁	2015年3月

研究（学会）発表など

タ イ プル	場 所	年 月 日	備 考
「明治期の警視庁の芸能取り締まり方針からみる都市の変貌」	桜美林大学	2015年6月20日	日本演劇学会

報道

タ イ プル	場 所	年 月 日	備 考
みんなのギモン「日本映画発祥の地は大阪？京都？神戸？」	関西テレビ「ワンダー」	2016年3月2日放送	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補 助 金 の 種 類 お よ び 研 究 題 目	研 究 代 表 者	期 間	継 続 / 新 創
科学研究費補助金 基盤研究(C) 「芸能史的環境における映画とその影響に関する研究」	横田 洋	2015～2018年度	新規

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講 演 名 ・ 題 目	場 所	主 催 者 名	年 月 日
大阪・京都文化講座 京都・大阪「悪所」の研究「芝居はいつから悪所ではなくなつたのか？」	立命館大阪梅田キャンパス	大阪大学大学院文学研究科、大阪大学21世紀懐徳堂、立命館大学文学部	2015年12月7日

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
銀のステッキ	2015年5月7日	
大阪大学医療技術短期大学部看護学科8期同窓会	2015年5月23日	
鳥取県立鳥取東高等学校 2年1組、6組	2015年10月15日	
かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会主催「大学ミュージアムをめぐるバスツアー」	2015年11月26日	バスに同乗

特任講師(常勤) 伊藤 謙

【社会貢献、管理運営等】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
通年・文学部・3回生以上	博物館学(学内実習)

学生指導

学生数(留学生含む)	留学生数	共同・分担した指導教官人数
33名	1名	5名

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
瀬戸内海産ナウマンゾウ病理標本のCTによる再検討	高橋 啓一 伊藤 謙ら	化石研究会会誌	第47巻第1号	2015年10月
伝統的生薬品質管理技術の可視化－犬伏製薬独自の甘松選別法－	伊藤 謙 犬伏 壮一郎ら	薬史学雑誌	50(1) 89-93	2015年8月
Japanese Cultural Uniqueness: Homogeneity of High Cultures and Subcultures	Ken Ito	JAS4QoL	Vol 1(2)	2015年6月
Sedative Effects of inhaled essential oil components of <i>Pogostemon cablin</i> leaves and their structure-activity relationships	Ken Ito ら	Journal of Traditional and Complementary Medicine	Vol.5,	2015年4月
Times Change: Dr. TEZUKA Osamu and his Dr. Black Jack	Ken Ito	JAS4QoL	Vol 1(1)	2015年3月
日本の近代地質学黎明期における歴史的資料：大阪大学適塾記念センター蔵 梅谷家化石標本群についての考察	伊藤 謙ら	日本研究	51号	2015年3月

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
Research on Science Culture and History through Herbalism	国立台湾大学	2015年11月21日	招待講演
特別展講演会「伝統医療を科学する～漢方・アロマテラピーを中心～」	岐阜県博物館	2015年11月3日	招待講演

【データベースの構築や入力件数など】

題目	件数	期間	備考
朝日新聞社寄贈社史蔵書	280件	1か月	RA雇用による

【社会貢献、管理運営等】

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
科学教育研究協議会(20名)	2015年8月7日	
私立昭和薬科大学付属高等学校(28名)	2015年8月28日	
仁川学院高等学校(15名)	2015年10月27日	
さくらサイエンス	2015年11月16日	英語対応
豊中市小中学校教育研究協議会社会科研究会	2015年12月2日	
PUTRA UNIVERSITY(MALAYSIA)	2016年2月18日	英語対応

8. 資料

掲載項目

- ・2015年度の主な活動一覧
- ・入館者数及びアンケート集計結果一覧
- ・団体見学一覧
- ・関連記事一覧
- ・寄贈図書一覧
- ・館内配置図

2015年度の主な活動一覧

期 間	主 な 活 動
2015年	
4月1日～5月17日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント かんさい・大学ミュージアムネットワーク連携展「関西大学創立130周年記念事業・平成27年度 関西大学博物館企画展「大学の扉を開く」」が開催された。(主催:関西大学博物館 共催:かんさい・大学ミュージアムネットワーク)
4月5日～5月31日	「再発見!森野旧薬園～生薬栽培の伝統と継承へ挑戦～」が開催された。(主催:森野旧薬園 共催:大阪大学総合学術博物館 協力:宇陀市、宇陀市観光ボランティアガイドの会会場:森野旧薬園)
4月11日～6月7日	徳島市立徳島城博物館 春の企画展「藍と薬のめぐりあいー和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂ー」が開催された。(主催:徳島市立徳島城博物館 共催:大阪大学総合学術博物館 特別協力:犬伏製薬株式会社)
4月18日	「第13回植物探検隊@春の待兼山を訪ねて」【1回目】が開催された。(主催:大阪大学21世紀懐徳堂 協力:大阪大学総合学術博物館)
4月29日	徳島市立徳島城博物館 講演会「緒方洪庵の薬箱が語る世界:近世の医療とセルフメディケーション」が開催された。(講師:大阪大学総合学術博物館准教授 高橋京子)
4月30日～7月11日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展「待兼山少年ー大学と地域をアートでつなぐ『記憶』の実験室ー」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市、豊中市教育委員会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、大阪大学大学院国際公共政策研究科 稲盛財団寄附講座、大阪大学大学院工学研究科、大阪大学大学院情報科学研究所 後援:大学博物館等協議会、北大阪ミュージアム・ネットワーク 協力:大阪芸術大学、建築物ウクレレ化保存計画、大阪大学21世紀懐徳堂 会場:大阪大学総合学術博物館待兼山修学館)
4月30日～	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント キャンパス・ミュージアム・プロジェクトを開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 会場:大阪大学豊中キャンパス)
5月9日	「第13回植物探検隊@春の待兼山を訪ねて」【2回目】が開催された。(主催:大阪大学21世紀懐徳堂 協力:大阪大学総合学術博物館)
5月23日、 5月25日～5月30日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント ウェビング・プロジェクト@待兼山「発酵を通しての空中浮揚の探求」作品展示を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、ケルサンアートスタジオ 会場:大阪大学総合学術博物館待兼山修学館)
5月29日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント ウェビング・プロジェクト@待兼山「発酵を通しての空中浮揚の探求」ワークショップを開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、ケルサンアートスタジオ 会場:大阪大学総合学術博物館待兼山修学館)
5月30日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント ウェビング・プロジェクト@待兼山「発酵を通しての空中浮揚の探求」パフォーマンスを開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、ケルサンアートスタジオ 会場:大阪大学総合学術博物館待兼山修学館)
6月27日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント「写真に残す 少年時代のまち歩き 原田少年」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市、豊中市教育委員会 協力:NPO法人とよなか・歴史と文化の会 案内人:とよなか・歴史と文化の会)
7月4日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント「写真に残す 少年時代のまち歩き 待兼山少年」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市、豊中市教育委員会 協力:NPO法人とよなか・歴史と文化の会 案内人:美術家 伊達伸明氏)
7月5日	大阪大学総合学術博物館 第8回特別展関連イベント「写真に残す 少年時代のまち歩き 新田少年」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市、豊中市教育委員会 協力:NPO法人とよなか・歴史と文化の会 案内人:山田昭治氏)
7月25日～8月25日	大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあいー和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂ー」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:徳島市立徳島城博物館 協力:くすりの道修町資料館、大阪大学21世紀懐徳堂 特別協力:犬伏製薬株式会社 会場:大阪大学総合学術博物館待兼山修学館)

期 間	主 な 活 動
8月1日	大阪大学総合学術博物館 第64回ミュージアム・レクチャー「緒方洪庵の薬箱が語る世界：近世の医療とセルフメディケーション」を開催した。(講師：大阪大学総合学術博物館准教授 高橋京子 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月4日	平成27年度 大阪中学生サマー・セミナー 大阪大学総合学術博物館開設講座「雪は天から送られた手紙である」が開催された。(主催：大阪中学生サマー・セミナー推進協議会 後援：大阪府 講師：大阪大学総合学術博物館 豊田二郎 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月8日	大阪大学総合学術博物館 第65回ミュージアム・レクチャー「近世の薬種流通と大坂道修町」を開催した。(講師：大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了 清水香穂氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月18日	平成27年度 夏の小学生科学体験教室「ワニの化石レプリカを作ろう」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 後援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学総合学術博物館研究支援推進員 西岡佑一郎 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月19日	平成27年度 夏の小学生科学体験教室「作ってあじわう 絵巻物の世界」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 後援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院文学研究科東洋美術史研究室助教代理 橋本遼太氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月20日	平成27年度 夏の小学生科学体験教室「オオクワガタの生態観察～黒いダイヤを育てよう～」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 後援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学生物研究会 渡邊耕平氏、森正憲氏、奥野恵拓氏、他数名、総合学術博物館准教授 豊田二郎 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月22日	大阪大学総合学術博物館 第66回ミュージアム・レクチャー「阿波の伝統薬「敬震丹」～現代ストレス社会を見越した妙薬～」を開催した。(講師：犬伏製薬株式会社薬剤師 犬伏壯一郎氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
10月10日	「第14回植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて」【1回目】が開催された。(主催：大阪大学21世紀懐徳堂 協力：大阪大学総合学術博物館)
10月16日～11月20日	2015年度実習展 阪大生がつくった展覧会 2015ベストA日程「松本奉山コンシェルト一墨の、調べ。ー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 会場：大阪大学会館 歴史展示室)
10月17日～11月21日 (毎週土曜日)	「最先端の物理を高校生に Saturday Afternoon Physics 2015 6週間でマクスウェルになろう！」(全6回)が開催された。(主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室 共催：大阪大学大学院理学研究科、大阪大学大学院工学研究科、大阪大学大学院基礎工学研究科、大阪大学全学教育推進機構、大阪大学核物理研究センター、大阪大学レーザーエネルギー学研究センター 後援：大阪府教育委員会、京都府教育委員会、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、京都市教育委員会、大阪府高等学校理化教育研究会、日本物理教育学会近畿支部、朝日新聞社、大阪大学大学院工学研究科附属フロンティア研究センター、大阪大学グローバルサイエンスキャンパス(SEEDSプログラム)、大阪大学インタラクティブ物質科学・かでっとプログラム 場所：大阪大学豊中キャンパス)
10月24日～11月25日	重要文化財指定記念ミニ展示「野中古墳出土品」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：大阪大学大学院文学研究科 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
10月24日～12月22日	大阪大学総合学術博物館 第19回企画展「金銅仏きらきらしいにしえの技にせまる」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：大阪大学大学院文学研究科 特別協力：東京藝術大学大学美術館 協力：奈良国立博物館、角谷鑄金工房、オリンパス株式会社、株式会社アコード、大阪大学21世紀懐徳堂 後援：大学博物館等協議会、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、北大阪ミュージアム・ネットワーク 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
10月24日	「第14回植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて」【2回目】が開催された。(主催：大阪大学21世紀懐徳堂 協力：大阪大学総合学術博物館)

期 間	主 な 活 動
11月7日	サイエンスカフェ@待兼山 No.127 「飛鳥仏の世界」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院文学研究科 鏡山智子氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月21日	サイエンスカフェ@待兼山 No.128 「対話型調停の技」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院法学研究科 仁木恒夫氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月5日	サイエンスカフェ@待兼山 No.129 「不安定性がつくる動きと形」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院理学研究科 茶碗谷毅氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月12日	国際シンポジウム「金銅仏の制作技法の謎にせまる」を開催した。(主催：科学研究費補助金基盤研究(A)「5～9世紀の東アジア金銅仏に関する日韓共同研究」、大阪大学総合学術博物館 シンポジスト：奈良文化財研究所研究員 丹羽崇史氏、黒川古文化研究所研究員 川見典久氏、西安美術学院美術史系副教授 于春氏、韓国国立中央博物館研究企画部長 関丙贊氏、大阪大学大学院文学研究科教授 藤岡穰氏、大正大学文学部教授 加島勝氏 会場：大阪大学基礎工学部国際棟Σホール)
12月14日～ 2016年1月22日	2015年度実習展 阪大生がつくった展覧会 2015ベストB 日程「鳩海 一松本奉山琵琶湖の風景ー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 会場：大阪大学会館 歴史展示室)
12月19日	2015年度実習展関連企画ワークショップ「チャレンジ！ 水墨画 一肌で感じる墨の濃淡ー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 講師：松本奉山水墨画会 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月19日	2015年度実習展関連企画ミュージアムトーク「[ミュージアムトーク 一松本奉山を語るー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 講師：松本奉山水墨画会、2015年度展示実習優秀班 会場：大阪大学会館 歴史展示室)
2016年	
1月30日	サイエンスカフェ@待兼山 No.130「見えないを見る 一紙で顕微鏡を作ろうー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院理学研究科分析機器測定室 戸所泰人氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
2月6日	サイエンスカフェ@待兼山 No.131「中国の仏画を読み解く 一南宋仏画の理念と諸相ー」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院文学研究科 高志緑氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
2月13日	サイエンスカフェ@待兼山 No.132「ニセ科学ってなんだろう」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学サイバーメディアセンター 菊池誠氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
3月12日	サイエンスカフェ@待兼山 No.133「分子レベルで明らかになりつつある生命科学」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学理学研究科 山中秀介氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
3月19日	サイエンスカフェ@待兼山 No.134「空海「風信帖」を紐解く」を開催した。(主催：大阪大学総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院文学研究科 浜野真由美氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)

入館者数及びアンケート集計結果一覧

・2015年度 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 入館者数

第8回特別展

会期：4月30日(木)～7月11日(土)
入館者数：4,510人

夏期特集展

会期：7月25日(土)～8月25日(火)
入館者数：1,936人

第19回企画展

会期：10月24日(土)～12月22日(火)
入館者数：5,030人

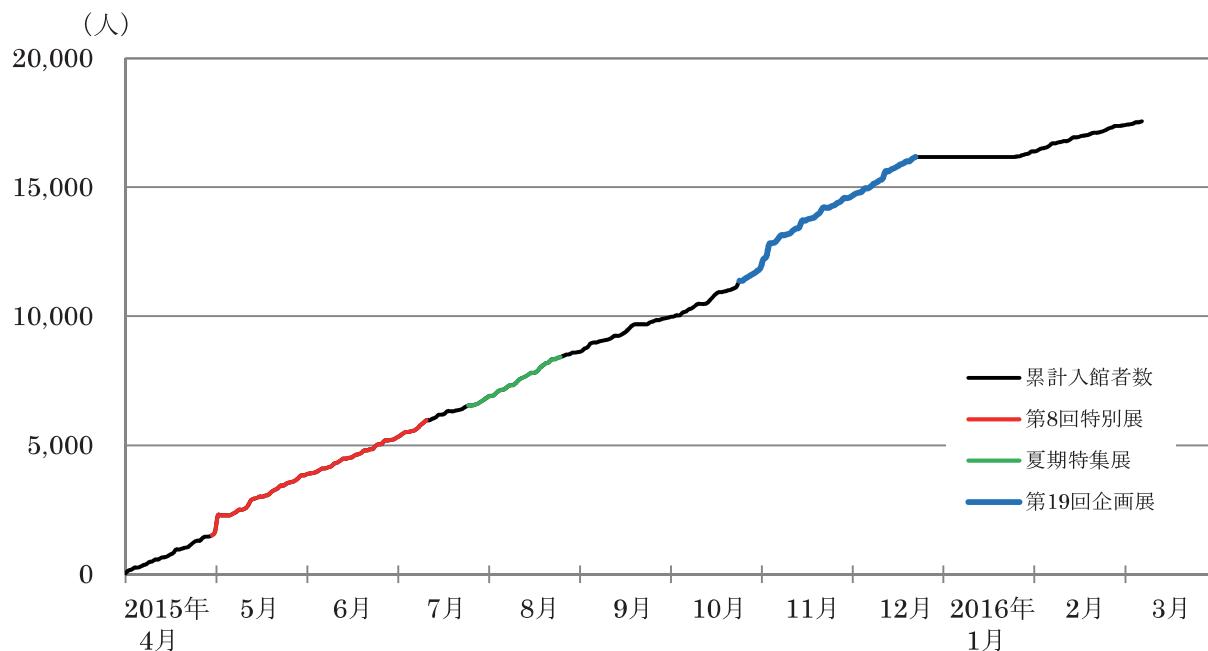
休館日：日曜・祝日

ただし、下記の日は開館
11月1日(日)、11月3日(火・祝)

年末年始休業およびメンテナンス休館：
12月23日(祝・水)～2016年1月24日(日)

(単位：人)

	入館者数
2015年4月	1,512
5月	2,324
6月	1,398
7月	1,588
8月	1,794
9月	1,331
10月	1,914
11月	2,742
12月	1,567
2016年1月	216
2月	994
3月	1,086
合計	18,466



※以下の内容のアンケート（任意記入）を実施した。

大阪大学総合学術博物館－待兼山修学館 アンケート

本日はご来館いただき誠にありがとうございます。今後の参考のため、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。以下の項目の該当する欄にチェック をつけてください。

- 来館日 _____年 _____月 _____日 ()
- 年齢 10代未満 10代 20代 30代 40代
 50代 60代 70代以上
- 住所 大阪府 京都府 兵庫県 奈良県 和歌山県 滋賀県
 その他 ()
- 学年 小学生未満 小学生 中学生 高校生 大学生・大学院生（阪大）
 大学生・大学院生（阪大以外） 専門学校生 一般 ()
- 大阪大学総合学術博物館－待兼山修学館についてお尋ねします。

Q1 どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）

- 通りがかり パンフレット ホームページ ガイドブック等
- 友人・知人より その他 ()

Q2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

- 1階 玄関ホールのマチカネワニ 世界にはばたく研究者
 コンピュータの黎明期
- 2階 大阪大学の系譜 みる科学
- 3階 待兼山に学ぶ
- R階 自然教室
 その他 ()

Q3 来館は何回目ですか？

- はじめて 2回目 3回目 4回目以上

Q4 その他ご意見・ご感想などをお書き下さい。

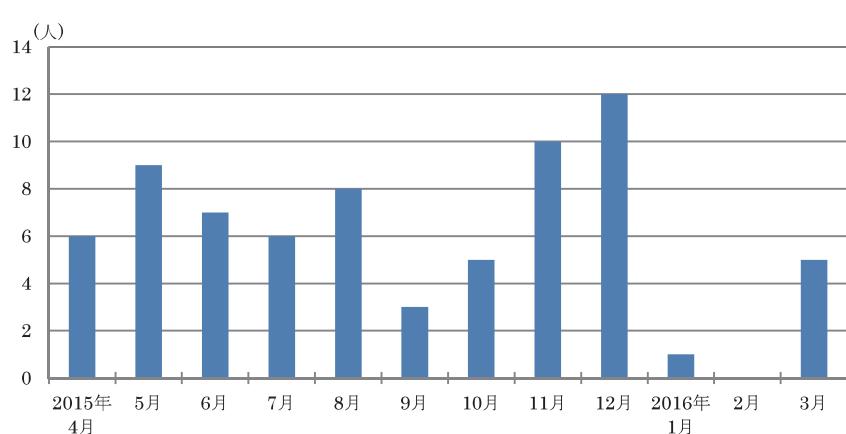
アンケートにお答え頂きありがとうございました。

貴重なご意見・ご感想などを今後の総合学術博物館発展のため、参考とさせて頂きます。

大阪大学総合学術博物館

・アンケート集計結果

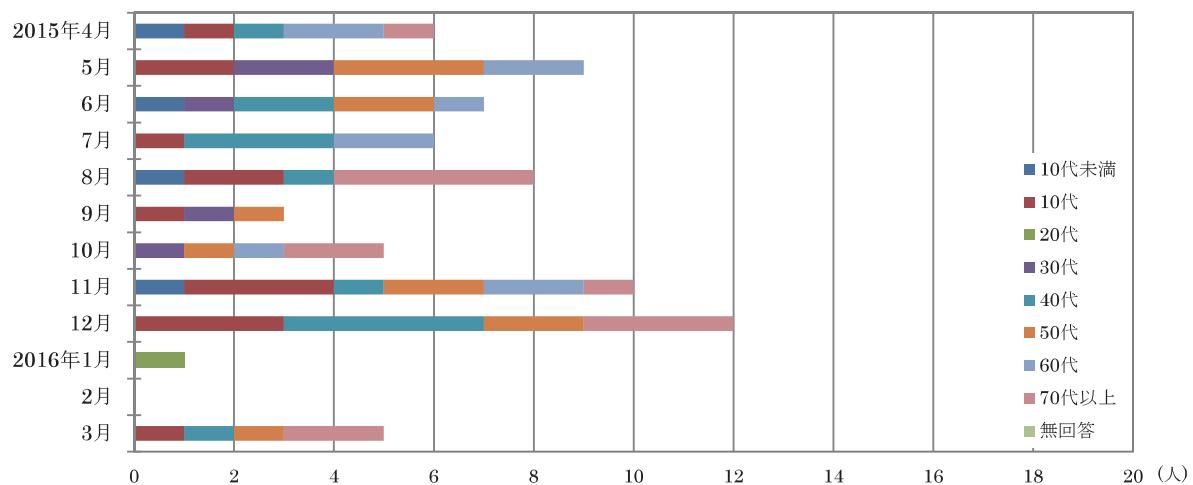
◆ アンケート回答総数



(単位：人)	
2015年4月	6
5月	9
6月	7
7月	6
8月	8
9月	3
10月	5
11月	10
12月	12
2016年1月	1
2月	0
3月	5
合計	72

■ 年齢分布

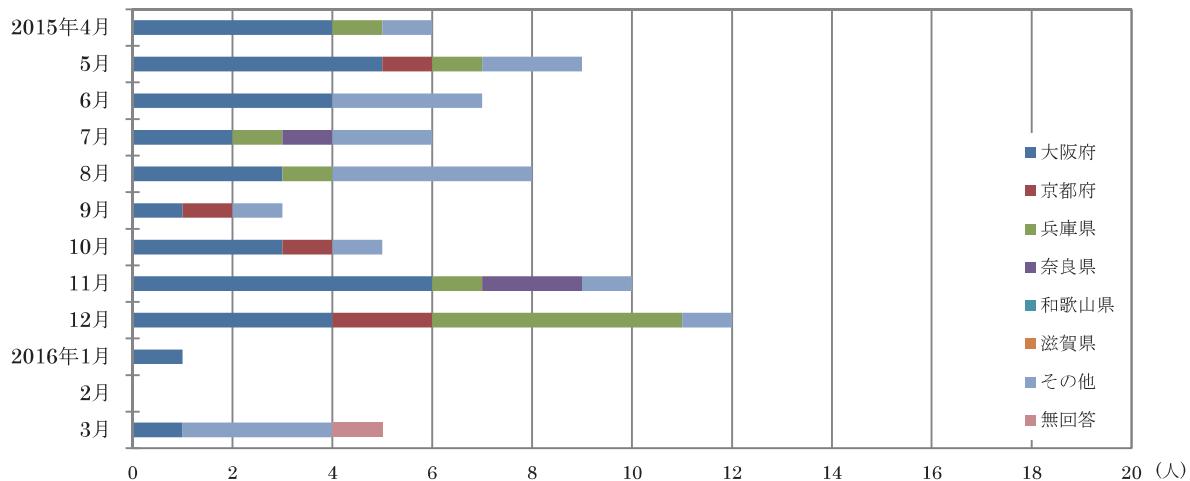
	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
2015年4月	1	1	0	0	1	0	2	1	0
5月	0	2	0	2	0	3	2	0	0
6月	1	0	0	1	2	2	1	0	0
7月	0	1	0	0	3	0	2	0	0
8月	1	2	0	0	1	0	0	4	0
9月	0	1	0	1	0	1	0	0	0
10月	0	0	0	1	0	1	1	2	0
11月	1	3	0	0	1	2	2	1	0
12月	0	3	0	0	4	2	0	3	0
2016年1月	0	0	1	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	0	2	1	1	0	0	0	0
合計	5	13	3	6	13	11	10	11	0



■住所分布

(単位：人)

(単位：人)	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他	無回答
2015年4月	4	0	1	0	0	0	1	0
5月	5	1	1	0	0	0	2	0
6月	4	0	0	0	0	0	3	0
7月	2	0	1	1	0	0	2	0
8月	3	0	1	0	0	0	4	0
9月	1	1	0	0	0	0	1	0
10月	3	1	0	0	0	0	1	0
11月	6	0	1	2	0	0	1	0
12月	4	2	5	0	0	0	1	0
2016年1月	1	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	0	0	3	1
合計	34	5	10	3	0	0	19	1



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2015年4月

- ・東京都

5月

- ・神奈川県
- ・仙台

6月

- ・島根県
- ・神奈川県
- ・埼玉県

7月

- ・三重県

8月

- ・東京
- ・福岡
- ・愛知

9月

- ・広島

10月

- ・神奈川県

11月

- ・北海道

12月

- ・島根県

2016年3月

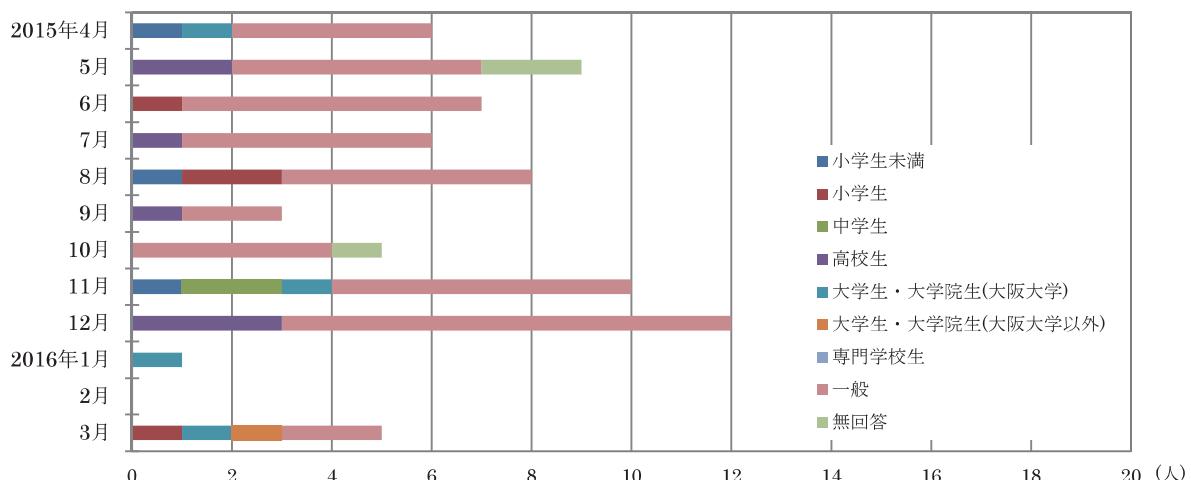
- ・東京都

- ・埼玉

■ 入館者学年分布

(単位：人)

	小学生 未満	小学生	中学生	高校生	大学生 大学院生 (大阪大学)	大学生 大学院生 (大阪大学以外)	専門 学校生	一般	無回答
2015年4月	1	0	0	0	1	0	0	4	0
5月	0	0	0	2	0	0	0	5	2
6月	0	1	0	0	0	0	0	6	0
7月	0	0	0	1	0	0	0	5	0
8月	1	2	0	0	0	0	0	5	0
9月	0	0	0	1	0	0	0	2	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	4	1
11月	1	0	2	0	1	0	0	6	0
12月	0	0	0	3	0	0	0	9	0
2016年1月	0	0	0	0	1	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	1	0	0	1	1	0	2	0
合計	3	4	2	7	4	1	0	48	3



● 一般 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2015年6月
・東大職員

7月
・会社員

8月
・司会業

10月
・会社員
・PD

11月
・会社員

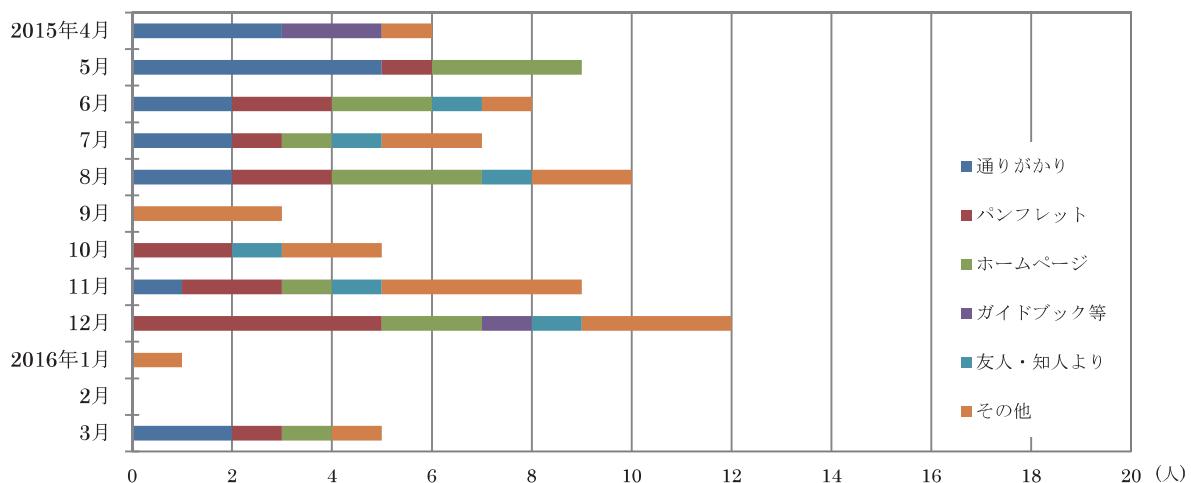
2016年3月
・会社員（卒業生です）

■ 大阪大学総合学術博物館 — 待兼山修学館についてお尋ねします。

Q1 どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）

(単位：人)

	通りがかり	パンフレット	ホームページ	ガイドブック等	友人・知人より	その他
2015年4月	3	0	0	2	0	1
5月	5	1	3	0	0	0
6月	2	2	2	0	1	1
7月	2	1	1	0	1	2
8月	2	2	3	0	1	2
9月	0	0	0	0	0	3
10月	0	2	0	0	1	2
11月	1	2	1	0	1	4
12月	0	5	2	1	1	3
2016年1月	0	0	0	0	0	1
2月	0	0	0	0	0	0
3月	2	1	1	0	0	1
合計	17	16	13	3	6	20



● その他 内訳

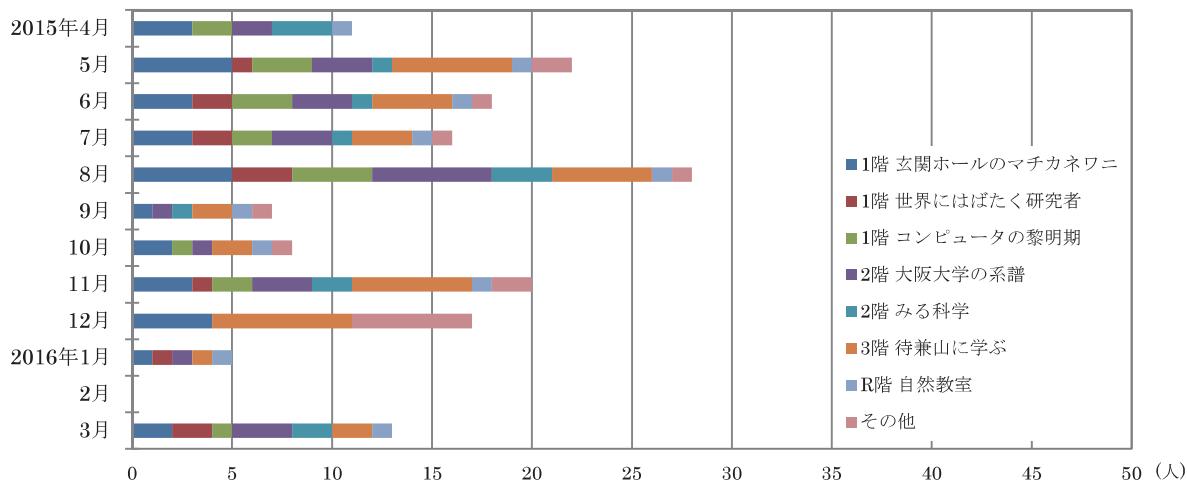
◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

- | | | | |
|---------------------|----------------------------|--|---------------------------|
| 2015年4月 | 6月 | 7月 | 8月 |
| ・娘が阪大入学したため | ・前に来た時は新聞に紹介されていたと記憶しています。 | ・卒業生なので友人から聞いていた。
・オーキャン | ・教科書（6年生理科）
・教科書にのっていた |
| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| ・学生
・近所
・百田先生 | ・前から待兼を見たいと思っていたから | ・校外学習
・大学訪問
・文化の日パンフ
・学祭の時今回の企画を知った | ・学校（高校）の大学見学ツアーハー |
| 2016年3月 | | | |
| ・子供の入試についてきて、たまたま | | | |

Q2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

(単位：人)

	1階			2階		3階		R階	その他
	玄関ホールのマチカネワニ	世界にはばたく研究者	コンピュータの黎明期	大阪大学の系譜	みる科学	待兼山に学ぶ	自然教室		
2015年4月	3	0	2	2	3	0	1	0	
3月	5	1	3	3	1	6	1	2	
6月	3	2	3	3	1	4	1	1	
7月	3	2	2	3	1	3	1	1	
8月	5	3	4	6	3	5	1	1	
9月	1	0	0	1	1	2	1	1	
10月	2	0	1	1	0	2	1	1	
11月	3	1	2	3	2	6	1	2	
12月	4	0	0	0	0	7	0	6	
2016年1月	1	1	0	1	0	1	1	0	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	2	2	1	3	2	2	1	0	
合計	32	12	18	26	14	38	10	15	



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2015年5月

- ・特別展
- ・ワニ

6月

- ・待兼山少年

7月

- ・待兼山少年

8月

- ・製釘機

10月

- ・金銅仏

11月

- ・金銅仏きらきらし展（特別展）

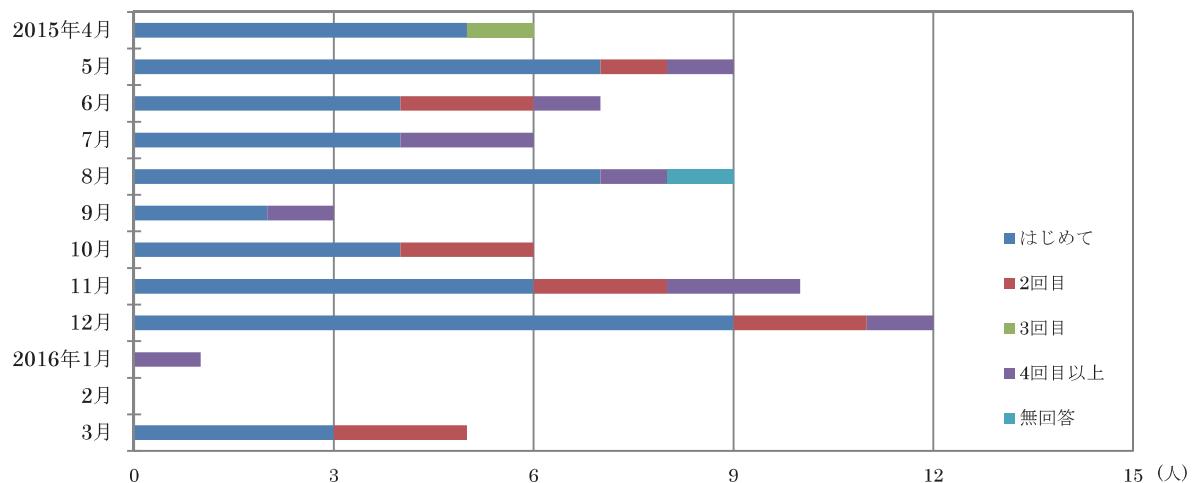
12月

- ・金銅仏きらきらし展
- ・シンポジウムの再現録画

Q3 来館は何回目ですか？

(単位：人)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
2015年4月	5	0	1	0	0
5月	7	1	0	1	0
6月	4	2	0	1	0
7月	4	0	0	2	0
8月	7	0	0	1	0
9月	2	0	0	1	0
10月	4	2	0	0	0
11月	6	2	0	2	0
12月	9	2	0	1	0
2016年1月	0	0	0	1	0
2月	0	0	0	0	0
3月	3	2	0	0	0
合計	51	11	1	10	0



Q4 その他ご意見・ご感想などをお書きください。

◎ アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

● 2015年4月

- ・阪大キャンパスにある植物を載せたマップが配布してあつたら、館外でも観察を楽しめると思います。。
- ・また機会があれば寄らせてもらいたいと思います。ゆっくり顕微鏡のコーナーを見たいと思います。
- ・いろいろと勉強になっておもしろい。年令に関係なく。
- ・マチカネワニの化石興味あり。又来たいと思う。
- ・タノシカッタ（イラスト有）

● 5月

- ・私も待兼山少年でした。懐かしいです。中村洋
- ・詳しくのっていたことがよかったです。
- ・とてもよかったです。
- ・コンピュータの黎明期 真空管の加減算機実物見られて良かった。解りやすい説明のパネルと原理図でした。
- ・一般展示が見易くなつた。阪大の系譜資料は複製ばかりなので、ぜひ原本を期間限定でも展示して欲しい。待兼山少年はもう少し地域の当時の写真が欲しかつた。ユニークであるが阪大卒業生の懐古のみに止まつてゐるのでは。
- ・なし、良かつた。

● 6月

- ・前回は具体美術協会の企画展の時だったので、かなり前だと思いますが、その時はまだあつたであろう住宅には気が付きませんでした。今回、伊丹市立図書館ことば蔵でチラシを見て、即、面白そうと感じましたね。よく記録されていてすごく楽しそうでした。又、おもしろい企画をお願いします。
- ・阪大宿舎の企画はあまり面白くなかった。ポスターの写真で期待したのですが。
- ・貴重な計算機を拝見できてよかったです。このような展示を長く続けていただけることを望みます。
- ・日本を代表する大学とあってすばらしい施設だと思います。
- ・たのしかつた!!!またきます。

● 7月

- ・昔の学舎の部分が残つていて良かった。一般の人にも開放となつてゐるのが良いと思う。カフェの価格が良心的だと思った。
- ・少し暑い。
- ・驚きました。面白い！また来たいと思ってます。
- ・学生の意欲低下著しい。
- ・高校生がやかましくゆっくり見学できない。注意すること!!
- ・いつも案内を送つていただきありがとうございます。企画展に関連したイベントがあるときは、それも知りたいのですが…石橋宿舎のイベントも、終わつた後に知って残念でした…

● 8月

- ・とてもおもしろく勉強になった
 - ・すばらしい展示が見れた。知人に紹介したい。
 - ・すばらしい会館（展示）の割に外に対するアピールが乏しいのではないか？
 - ・孫をつれて再度伺いたい。
- 有難うございました。
文科系、理系先生方のご著書などの展示はどこにありますか。
適塾などは、立体模型があれば面白い。

- ・心地良い頭の疲れを感じています。

先人達の思いや発想、業績…etc

出来るだけ多くの方にここを訪ねて頂けるよう、微力ながら我々の機会に語りたいと思います。
館内ガイドなど取り組まれているかも知れませんが、そんな機会があれば、また訪れたいと思っております。
福岡県北九州市

- ・楽しかつたです。

● 9月

- ・知らないおじさんの写真ばっかでした。臼井くんがはじけてました。
- ・思いのほか立派な施設・内容でした。もう少し宣伝して一般の人が来ても満足してもらえると思います。

● 10月

- ・豊中学舎が考古学の宝庫とは知らなかつた。感動しました。展示もわかり易くとても良かったです。
- ・施盤1台だけ設置されています（さびしいです）。他とのつながりが理解できません。何かいい方法を考えて下さい。（たとえば機械工業との関連などと）
- ・色々勉強になることがありました。来館して良かったです。
- ・ヨカッタです。

- 11月
 - ・仏像の見学ができる世界が少し広がった。
 - ・きれいな冊子ありがとうございました。
 - ・すごいところ。又来ます。友人知人にも PR します。
 - ・国公立の人文系廃止論を聞きますが、気骨を持って対応してください。文学部 OB の希望です。
- 12月
 - ・「金銅仏きらきらし」展は、金属の含有割合の分析という視点で仏像をとらえられていて、おもしろいと思いました。
 - ・仏像と銘文の写真の展示をもっと近くに（仏像を見ながら写真を見られるように）していただけたら、さらにわかりやすい展示になったと思います。
 - ・科学的な視点からの展示はとても良いです。
 - ・金銅仏→素晴らしい。
 - ・日曜日も月1回程度で良いので開館してほしい。
 - ・The 仏像 exhibition was excellent . You have done a wonderful job with the 仏像 exhibition.
I have been to many exhibitions of Buddhist art all over Japan and Asia.
This is one of the best exhibitions I have seen. Also the exhibition was free and there was a free book too.
Thank you so much for this amazing exhibition.
The history of Buddhism and Buddhist art is an extraordinary treasure for All the world. In this exhibition you have shown how wonderful the tradition of Buddhism is. You have done a great job. You have done an amazing job. I cannot believe how amazing this exhibition is. Thank you. I have lived in Japan for many years and I never stop being amazed at the extraordinary array of beautiful things you have in your country.
 - Japan has an amazing artistic religious heritage and you have preserved it so well.
Japan also preserves religious treasures from all over Asia. The journey never ends in Japan,
It is truly an odyssey of the most miraculous kind. Thank you for your hard work.
 - ・時間がないのでゆっくりできませんが、また来たいと思います。
 - ・博物館の存在すら知らなかった。大変面白く勉強になりました。孫を連れてまた来たい。
 - ・「金銅仏きらきらし」展、楽しかった。古人の苦労作にも（どこか楽しみながら）を感じました。
ありがとう。
 - ・カフェやトイレの配置が絶妙であった。
- 2016年1月
 - ・資料が不足。広報しろ。怒ってます。何が変わったんですか!!
- 2月
 - アンケートゼロ
- 3月
 - ・文系・理系の研究業績やワニ以外の考古学・人文学の展示を増やせば人気が出ると思います
 - ・工学、化学、医学関連の展示が非常に興味深い。
工学部出身の自分としては、理学関連の展示が増えてほしい。(理学系の先生方、がんばって下さい!!)
大学にこういう施設があると良いですね。
在学中は興味がなくても、卒業後に来ると良いです。(私の在学中にはまだありませんでしたが…)
 - ・とてもきれいな施設。展示内容もすばらしいと思います。見るだけでは難しくわかりづらいのですが、所々のモニターの解説のおかげで充実した時間が過ごせました。ありがとうございました。
 - ・マチカネワニの実物化石の展示、とにかくすばらしいです!!!
ぜひこのままの展示を続けてください。
 - ・楽しかったです。

団体見学一覧

※事前に申し込みのあった団体のみを掲載

No.	月 日	曜日	団 体 名	人 数	説明館員
2015年					
1	4月 3日	金	灘歩こう会	11	なし
2	4月 9日	木	[理学部] 生命理学基礎演習1	31	なし
3	4月 13日	月	[共通教育科目] 大阪大学の歴史	41	なし
4	4月 17日	金	[共通教育科目] 博物館体験コース	25	上田・横田
5	4月 18日	土	第13回 植物探検隊@春の待兼山を訪ねて	27	なし
6	4月 24日	金	春の待兼山で植物観察会	26	なし
7	4月 27日	月	[共通教育科目] 地球科学A	50	なし
8	4月 27日	月	[共通教育科目] 考古学基礎A	42	なし
9	5月 7日	木	銀のステッキ	25	横田
10	5月 9日	土	第13回 植物探検隊@春の待兼山を訪ねて	30	なし
11	5月 12日	火	NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ	58	西岡
12	5月 13日	水	仁川 POSCO 高校	107	なし
13	5月 13日	水	マレーシア high school 教師グループ	35	なし
14	5月 20日	水	和歌山県立橋本高等学校	42	なし
15	5月 20日	水	東山作業所	26	なし
16	5月 23日	土	大阪大学医療技術短期大学部看護学科8期同窓会	25	横田
17	5月 25日	月	GNP80 (工学部精密工学科同窓会)	23	宮久保
18	6月 1日	月	いきいき歩く会	30	なし
19	6月 5日	金	NPO 法人 とよなか・歴史と文化の会	27	なし
20	6月 10日	水	川西北陵高等学校	43	なし
21	6月 24日	水	兵庫県立明石西高校	42	なし
22	6月 27日	土	阪大溶接工学科46年卒同窓会	18	宮久保
23	6月 27日	土	近畿大学付属新宮高等学校	21	なし
24	7月 1日	水	[共通教育科目] 宇宙地球科学の考え方	42	なし
25	7月 1日	水	[知のジムナスティックス科目] 文化資源学入門	7	なし
26	7月 3日	金	徳島県立海部高等学校 PTA	35	なし
27	7月 4日	土	桜井谷の歴史を知る会	13	なし
28	7月 8日	水	[共通教育科目] 宇宙地球科学の考え方	40	なし
29	7月 9日	木	和歌山外国語専門学校・中国 黄岡外国語学校	26	西岡
30	7月 9日	木	大阪信愛女学院高等学校	50	豊田
31	7月 10日	金	奈良市立一条高等学校	42	上田
32	7月 13日	月	金光八尾高等学校	40	宮久保
33	7月 14日	火	北野高校 66期有志会	10	なし
34	7月 15日	水	[共通教育科目] 宇宙地球科学の考え方	40	なし
35	7月 18日	土	近畿大学附属広島高等学校福山校	33	なし
36	7月 24日	金	私立須磨学園高等学校	42	豊田
37	7月 29日	水	京都府立鳥羽高等学校 PTA	25	宮久保
38	8月 3日	月	岡山県立岡山芳泉高等学校	40	高橋
39	8月 7日	金	土佐高等学校	23	高橋
40	8月 12日	水	療育スペースゆう	13	なし
41	8月 19日	水	Hong Kong Institute of Vocational Education	34	高浦
42	8月 24日	月	大阪府立千里青雲高校	12	なし
43	8月 26日	水	私立昭和薬科大学附属高等学校	25	伊藤
44	9月 2日	水	上宮太子高等学校	70	宮久保
45	9月 4日	金	京都学園高等学校	77	なし
46	9月 17日	木	香川県立三本松高等学校	35	西岡
47	9月 18日	金	比叡山高校	54	なし
48	10月 5日	月	島根県立出雲高等学校	82	なし
49	10月 9日	金	NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ	16	豊田
50	10月 10日	土	第14回 植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて	30	なし
51	10月 14日	水	滋賀県立東大津高等学校 PTA	74	なし
52	10月 15日	木	鳥取県立鳥取東高等学校	82	横田
53	10月 16日	金	大阪府立三島高等学校	82	なし

No.	月 日	曜日	団体名	人数	説明館員
54	10月23日	金	NPO法人 とよなか歴史と文化の会	10	なし
55	10月23日	金	阪大経済学部13期生 卒後50年の集い	13	宮久保
56	10月24日	土	[文学研究科] 東洋美術史演習	30	なし
57	10月24日	土	石橋南小学校	50	なし
58	10月24日	土	第14回 植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて	25	なし
59	10月26日	月	ドイツ学生支援協会	12	西岡
60	10月27日	火	貝塚市立第二中学校	10	なし
61	10月27日	火	仁川学院高等学校	15	伊藤
62	10月30日	金	NPO法人 とよなか歴史と文化の会	31	なし
63	10月31日	土	野畠校区福祉委員会	40	西岡
64	11月 2日	月	ジグマ同期会	12	豊田
65	11月 7日	土	文化散歩の会	29	宮久保
66	11月11日	水	豊中市立第八中学校	76	なし
67	11月16日	月	さくらサイエンス	13	伊藤
68	11月18日	水	西宮自然の会	5	高橋
69	11月19日	木	大阪声のグループ	25	なし
70	11月19日	木	報徳学園高等学校	34	なし
71	11月20日	金	兵庫県立宝塚北高等学校	42	西岡
72	11月26日	木	かんさい・大学ミュージアムネットワーク バスツアー	44	永田・横田・伊藤
73	12月 1日	火	日本セカンドライフ協会	27	西岡
74	12月 2日	水	豊中市小中学校教育研究協議会 社会科研究会	7	伊藤
75	12月 7日	月	高齢者大学同窓会東淀川	17	西岡
76	12月 8日	火	NPO法人 とよなか歴史と文化の会	28	なし
77	12月10日	木	大阪府立大手前高等学校	10	なし
78	12月10日	木	かんさい大学ミュージアム連携実行委員会	15	永田・橋爪・上田・横田
79	12月16日	水	伏尾台街かどサロンウォーキングクラブ	10	宮久保
80	12月17日	木	篠山鳳鳴高校	30	宮久保
81	12月21日	月	大阪国際大和田高等学校	65	なし
2016年					
82	2月 5日	金	すいた環境学習協会・まち組	35	なし
83	2月18日	木	PUTRA UNIVERSITY	4	伊藤
84	3月 7日	月	さくらサイエンスプラン	16	宮久保

関連記事一覧

新聞

※教員関連の記事は「6. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載日	曜日	掲載紙名	内 容
2015年				
1	4月20日	月	日刊ケイザイ	地域住民との交流型ミュージアムを目指す
2	5月20日	水	毎日新聞（朝刊）	特別展「待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ記憶」の実験室—
3	7月3日	金	日本経済新聞（夕刊）	特別展「待兼山少年」 7/11まで
4	7月6日	月	朝日新聞（夕刊）	葦 夕べに考える 記憶はどこにある
5	8月18日	火	大阪日日新聞（朝刊）	美のかたち、芸術のことば 阪大アートメディア論研究室：特別展『待兼山少年』「坂をのぼれば、おもいだす」—記憶の扉がひらくとき
6	8月22日	土	読売新聞（朝刊）	江戸期の薬事情知る
7	8月25日	火	鍼灸柔整新聞	ちょっとおじゃまします 『藍と薬のめぐりあい—和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂—』展
8	12月7日	月	読売新聞（夕刊）	文化 金銅仏 輝きの謎
9	12月7日	月	朝日新聞（夕刊）	文化 金銅仏の技 迫る企画展 大阪・豊中

その他 刊行物

※教員関連の記事は「6. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載誌 / 発行	発行日 / 卷 / 号 他	内 容
1	わくわく理科 / 啓林館	2015年4月	地域資料集 大学で見つかった傷ついたワニの化石
2	広報いけだ / 池田市	2015年4月1日 / 第1133号	みゅうじあむ・がいど ●特別展「待兼山少年—大学と地域をつなぐ《記憶》の実験室—」
3	広報うだ / 宇陀市総務部 秘書広報情報課	2015年4月1日 / 112号	再発見！森野旧薬園～生薬栽培の伝統と継承へ挑戦～
4	豊中市市勢要覧 / 豊中市 政策企画部 広報広聴課	2015年4月	文化 and Toyonaka (総合学術博物館紹介)
5	これがウチのおはこやねん！ / 石橋商店街	2015年4月16日～18日	大阪大学総合学術博物館からのお知らせ 第8回特別展「待兼山少年」大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室
6	はろーあさひ / 阪田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	2015年5月/第317号	第8回特別展 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室 待兼山少年
7	広報いけだ / 池田市	2015年5月1日 / 第1134号	みゅうじあむ・がいど ●特別展「待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室—」
8	広報とよなか / 豊中市	2015年5月1日 / Vol.781	人権・文化 大阪大学総合学術博物館 特別展 待兼山少年
9	阪急沿線情報誌 TOKK / 株式会社阪急アドエージェンシー	2015年5月15日 / 通巻732号	学生たちの食欲を満たす素朴な味を求めて〈石橋〉 大阪大学総合学術博物館
10	Hello! Doctor / アミューズ	2015年5月11日 / 通巻72号	Informaiton 大阪大学総合学術博物館
11	これがウチのおはこやねん！ / 石橋商店街	2015年5月17日～19日	大阪大学総合学術博物館からのお知らせ 第8回特別展「待兼山少年」大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室
12	月刊 大和路ならら / 地域情報ネットワーク株式会社	2015年6月1日 / 第18巻 第6号 通巻201号	Event Guide [大阪大学総合学術博物館] 夏期特集展覧会 藍と薬のめぐりあい
13	広報いけだ / 池田市	2015年6月1日 / 第1135号	みゅうじあむ・がいど ●特別展「待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室—」
14	広報とよなか / 豊中市	2015年6月1日 / Vol.782	人権・文化 企画展「待兼山少年」関連イベント
15	阪急沿線情報紙 TOKK / 株式会社阪急アドエージェンシー	2015年6月15日 / 通巻734号	阪急沿線インフォメーション お知らせ 大阪大学総合学術博物館 第8回特別展 待兼山少年 一大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室—
16	日本歴史 / 日本歴史学会	2015年7月1日 / 第806号	文書館・史料館 めぐり 大阪大学総合学術博物館
17	広報いけだ / 池田市	2015年7月1日 / 第1136号	みゅうじあむ・がいど ●特別展「待兼山少年」 ●夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい」

その他 刊行物

※教員関連の記事は「6. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載誌 / 発行	発行日 / 卷 / 号 他	内 容
18	これがウチのおはこやねん！ / 石橋商店街	2015年7月16日～18日	大阪大学総合学術博物館からのお知らせ 夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい」－和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂－
19	広報いけだ / 池田市	2015年8月1日 / 第1137号	みゅうじあむ・がいど ●夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい」
20	広報いけだ / 池田市	2015年9月1日 / 第1138号	みゅうじあむ・がいど 大阪大学総合学術博物館
21	これがウチのおはこやねん！ / 石橋商店街	2015年9月16日～18日	大阪大学総合学術博物館からのお知らせ ●今後のイベントお知らせ
22	日本のものづくり遺産－未来技術遺産の全て－ / 株式会社山川出版社	2015年4月10日発行	Systematic Field 1 映像・情報・コンピュータ パラメトロン電子計算機 HIPAC MK-1 日本独自方式の商用計算機
23	広報いけだ / 池田市	2015年10月1日 / 第1139号	みゅうじあむ・がいど ●企画展「金銅仏きらきらしーいにしえの技にせまる－」
24	広報とよなか / 豊中市	2015年10月1日 / Vol.786	人権・文化 サイエンスカフェ@待兼山
25	空港と街の色彩リマガジン sorairo / 大阪国際空港	2015年10月10日発行	充実した時間を過ごせる、無料おでかけスポットに注目！ 豊中市 大阪大学総合学術博物館
26	阪急沿線情報紙 TOKK / 株式会社阪急アドエージェンシー	2015年11月1日発行 / 通巻743号	阪急沿線ちょい駅散歩 85 駅目 いしばし 大阪大学総合学術博物館 待兼山のワニが出迎える知のワンダーランド！
27	第13回関西文化の日 / 関西文化の日 事務局	2015年10月発行	大阪大学総合学術博物館
28	広報いけだ / 池田市	2015年11月1日 / 第1140号	みゅうじあむ・がいど ●企画展「金銅仏きらきらしーいにしえの技にせまる－」
29	City Life 北摂 WEST 版 / 株式会社シティライフ NEW	2015年11月1日発行 / 153号	シティライフ アーカイブズ 北摂の歴史記録 第8回 マチカネワニの発見－1964年－
30	City Life 北摂 EAST 版 / 株式会社シティライフ NEW	2015年11月1日発行 / 385号	シティライフ アーカイブズ 北摂の歴史記録 第8回 マチカネワニの発見－1964年－
31	学びの情報 / 吹田市生涯学習推進本部	2015年12月1日発行	吹田市 6大学・研究機関講座等情報 大阪大学総合学術博物館 第19回企画展「金銅仏きらきらしーいにしえの技にせまる－」
32	学びの情報 / 吹田市生涯学習推進本部	2015年12月1日発行	吹田市 6大学・研究機関講座等情報 国際シンポジウム「金銅仏の制作技法の謎にせまる」
33	書道界 / 藤樹社	2015年12月15日発行	ランダム・ハウス 金銅仏きらきらしーいにしえの技にせまる
34	体のふしぎ / アシェット・コレクションズ・ジャパン株式会社	2015年9月23日発売 / Vol.103	ワニの歴史 日本にもワニがいた
35	理科教室 / 日本標準	2016年1月1日発行	大阪大学総合学術博物館 一阪大の歴史・研究とマチカネワニ化石を味わい尽くせる博物館－
36	広報いけだ / 池田市	2015年12月1日 / 第1141号	みゅうじあむ・がいど ●企画展「金銅仏きらきらしーいにしえの技にせまる－」
37	広報いけだ / 池田市	2016年1月1日 / 第1142号	みゅうじあむ・がいど メンテナンス休館のおしらせ
38	広報いけだ / 池田市	2016年2月1日 / 第1143号	みゅうじあむ・がいど 来館案内
39	広報いけだ / 池田市	2016年3月1日 / 第1144号	みゅうじあむ・がいど 来館案内
40	阪急電車 宝塚線沿線 まちあるき手帖 / 株式会社阪急アドエージェンシー	2016年3月25日発行	石橋駅：おさんぽテーマ「巨大ワニの化石に太古のロマンを求めて」 大阪大学総合学術博物館
41	広報とよなか / 豊中市	2016年1月1日 / Vol.789	人権・文化 サイエンスカフェ@待兼山

インターネット

No.	掲載ホームページ	内 容
1	阪急電鉄	イベント情報 第8回特別展 待兼山少年（大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館）
2	奈良県公式ホームページ	イベントのお知らせ 「再発見！森野旧薬園」の開催について ～生薬栽培の伝統と継承への挑戦～
3	関西文化.com	イベント 大阪大学総合学術博物館 第8回特別展「待兼山少年」
4	ほとんど0円大学	大学はこう使え！第1回大学ビギナーは大学博物館を利用せよ！
5	ほとんど0円大学	違った視点から「マッサン」を楽しむ 大阪大学「サイエンスカフェ@待兼山」に行ってみた。
6	豊中市	文化芸術振興トピックス 豊中市共催事業 大阪大学総合学術博物館 第8回特別展
7	阪急電鉄	イベント情報 第8回特別展 待兼山少年－大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室－（大阪大学総合学術博物館）
8	OSAKA-INFO 大阪観光情報 ASIAN GATEWAY OSAKA	展覧会 藍と薬のめぐりあい - 和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂 -
9	WomanLife web版	夏期特集展覧会 藍と薬のめぐりあい - 和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂 -
10	阪急電鉄	イベント情報 藍と薬のめぐりあい - 和漢薬「敬震丹」を阿波・大坂 -（大阪大学総合学術博物館）
11	City Life News	夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい」が開催される
12	まいぷれ とよなか	イベント 2015夏の小学生科学体験教室
13	まいぷれ とよなか	イベント 藍と薬のめぐりあい
14	関西文化.com	イベント 大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい」
15	関西文化.com	イベント 大阪大学総合学術博物館第19回企画展「金銅仏きらきらし」
16	阪急電鉄	イベント情報 金銅仏きらきらし ーいにしえの技にせまるー（大阪大学総合学術博物館）
17	阪急電鉄	イベント情報 阪大生がつくった展覧会 2015ベスト 鴻海（におのうみ）－松本奉山 琵琶湖の風景－（大阪大学総合学術博物館）
18	はろーあさひ / 阪田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	はろーあさひ最新情報 第8回特別展 大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室 待兼山少年
19	はろーあさひ / 阪田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	はろーあさひ最新情報 大阪大学総合学術博物館 夏期特集展覧会 藍と薬のめぐりあい - 和漢薬「敬震丹」と阿波・大坂 -
20	はろーあさひ / 阪田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	はろーあさひ最新情報 総合学術博物館第19回企画展 金銅仏きらきらしいにしえの技にせまる

ラジオ・テレビ等

No.	番組名 / 放送局	放送日時	内 容
1	まちのラジオ 大阪大学社会連携 / みのおエフエム タッキー816	2015年5月14日 15:00～16:00	大阪大学総合学術博物館第8回特別展「待兼山少年」
2	関西満載『おちゃのこ saisai』 / J:COM	2015年7月1日 16:00～16:53	豊中池田、おもしろい地名
3	まちのラジオ 大阪大学社会連携 / みのおエフエム タッキー816	2015年11月12日 15:00～16:00	大阪大学総合学術博物館第19回企画展「金銅仏きらきらし」

寄贈図書一覧

No.	寄贈者	書名
1	財アジア太平洋研究所	うめきた研究会講演概要集（2014年度）
2	池田市立歴史民俗資料館	平成27年度特別展 支配と宗教のはざまで
3	泉氏久保惣記念美術館 2015	特別展 笑いのかたち－絵が笑う絵で笑う－
4	伊丹市立美術館	伊丹市立美術館 館報 2013～2014
5	宇治市歴史資料館	宇治市歴史資料館
6	宇治市歴史資料館	収蔵資料調査報告書 17 京都社寺境内図
7	宇治市歴史資料館	宇治茶 トップブランドの成立と展開
8	大阪市立大学大学史資料室	恒藤記念室叢書5 恒藤記念室所蔵資料目録
9	大阪市立大学大学史資料室	大阪市立大学史紀要 第8号
10	大阪市立住まいのミュージアム（大阪くらしの今昔館）	天下人の城大工 中井大和守の仕事Ⅲ
11	大阪商業大学商業史博物館	北野恒富と中河内 －知られざる大阪画壇の発信源－
12	大阪城天守閣	大阪の陣400年記念 テーマ展 大阪城戦史
13	大阪城天守閣	大阪城天守閣紀要 第41号
14	大阪市立東洋陶磁美術館	李秉昌博士記念 韓国陶磁研究報告9 東アジア海域と高麗青磁Ⅱ
15	大阪府立池博物館	平成27年度特別展 近世狭山池地図 －水下農民の狭山池改修史－
16	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報 平成26年度
17	大阪歴史博物館	[特別展] 海峡を渡る布
18	大阪歴史博物館／大阪文化財研究所	大坂 豊臣と徳川の時代
19	大阪歴史博物館／千葉市美術館	唐画もん -武禅に闇苑、沖若も
20	大山崎町歴史資料館	大山崎町歴史資料館年報 第19号 2012
21	大山崎町歴史資料館	第23回企画展 河陽離宮と水無瀬離宮
22	海遊館	黒潮の魚
23	香川県立ミュージアム	高松藩主松平家墓所調査報告書
24	香川県立ミュージアム	高松松平家歴史資料目録IV 能面 能楽器
25	鹿児島大学総合研究博物館	年報 No13 2013
26	鹿児島大学総合研究博物館	研究報告 No.7 トカラ地域植物目録
27	鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.14
28	鹿児島大学総合研究博物館	成川式土器ってなんだ？－鹿大キャンパスの遺跡から出土する土器－
29	鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館研究報告 No.8 大隅大崎 神領10号墳の研究
30	神奈川県立歴史博物館	平成27年度特別展 没後100年 五姓田義松－最後の天才－
31	金沢大学資料館	平成27年度特別展 加賀藩 与力 武士のはまれ
32	上郡町郷土資料館	上郡町合併六十周年記念 上郡町の歌人たち
33	かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会	関西圏大学ミュージアム連携活性化事業／交流する大学ミュージアムを目指して事業報告書 大学の扉を開く
34	関西大学博物館	紀要 第21号
35	関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第22号
36	関西大学博物館	関西大学博物館 関西・大学ミュージアムネットワーク連携展図録 大学の扉を開く
37	関西学院大学博物館	本を彩る版画 藏書票を愛した男 萩原賢吉の軌跡
38	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告 第14号
39	京都・大学ミュージアム連携運営委員会事務局	二つの王都 京都と首里
40	京都工芸大学美術工芸資料館	中澤岩太博士の美術工芸物語－東京・パリ・京都
41	京都造形芸術大学 芸術館	郷土人形 FOLK DOLLES
42	京都大学総合博物館	挑戦する大学博物館
43	京都文化博物館地域共創事業実行委員会	『まち、と『ミュージアム』の文化が結ぶ幸せなかたち2
44	京都芸術センター	KYOUTO ART CENTER 2013/04-2014/03 DOCUMENTS 都芸術センター 2013年度事業報告書
45	熊本大学五高記念館	漱石生誕一五〇年・没後一〇〇年・来熊一二〇年記念 五高と漱石
46	熊本大学五高記念館	熊本大学五高記念館叢書 第二集 第五高等学校における勤労奉仕・勤労動員
47	神戸大学大学院人文学研究科 海港都市研究センター	海港都市研究 第10号
48	神戸大学大学院人文学研究科	文化財防災体制についての国際比較研究 報告書
49	郡山古文書クラブ	和州郡山藩 幕末大庄屋記録 文久四甲子年 御用留
50	國學院大學	東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業帆⑨酷暑
51	国際伝統藝術研究会	国際伝統藝術研究 4

No.	寄贈者	書名
52	国立民族学博物館	韓国食文化読本
53	国立民族学博物館	夷酋列像 蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界
54	堺市博物館	堺市博物館研究報告 第32号
55	堺市博物館	堺市博物館研究報告 第33号
56	堺市博物館	堺市博物館研究報告 第34号
57	堺市博物館	堺市博物館研究報告 第35号
58	サントリー美術館	サントリー美術館 研究紀要 Vol.3
59	滋賀大学経済学部附属史料館	史料館新営20周年特別展 重要文化財 菅浦文書を読み解く
60	静岡県博物館協会	研究紀要 第38号
61	島根大学学術情報機構ミュージアム	年報 平成25.26年度
62	島本町立歴史文化資料館	館報 第6号
63	島本町立歴史文化資料館	島本町立歴史文化資料館 館報第7号
64	島本町教育委員会	島本町文化財調査報告書 第27集
65	紫明の会	藝術文化雑誌 紫明 第35号 特集「平城山」
66	吹田市立博物館	館報 15
67	吹田市立博物館	市制75周年・平成27年度(2015年度)秋季特別展 絵図って面白い
68	西南学院大学	西南学院大学博物館事業報告Ⅰ 大学博物館連携事業
69	西南学院大学	西南学院大学博物館研究紀要 第3号
70	西南学院大学	西南学院大学博物館年報 第7号
71	西南学院大学	2015年秋季特別展 南蛮昇華した芸術
72	摂南大学 大阪くらしの今昔館	淀川舟游 若沖・応挙・燕村も愛した
73	全国理工系学芸員会議	第5回全国理工系学芸員展示研究大会集録
74	たばこと塩の博物館	リニューアルオープン記念展 浮世絵と喫煙具 世界に誇るジャパンアート
75	たばこと塩の博物館	たばこと塩の博物館 常設展示解説ガイドブック
76	筑紫野市歴史博物館	年報 15
77	帝塚山大学附属博物館	館報 10
78	帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 17
79	帝塚山大学考古学研究所・博物館	シンポジウム報告書 最新研究 行基の考古学
80	鉄斎美術館	鉄斎 万巻の書を読み 万里の路を行く
81	東京藝術大学美術学部 / 大学院美術研究科修士課程	平成27年度東京藝術大学 卒業・修了政策作品集2016
82	東京農業大学	年報 2010.2011.2012.2013
83	東京文化財研究所	保存科学 第54号
84	同志社大学歴史資料館	調査研究報告第13集 相国寺旧境内発掘報告書
85	同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報 第18号
86	東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No14 2015
87	東北大学総合学術博物	東北大学総合学術博物館 紀要 No.15
88	道修町資料保存会	道修町文書近世編 第四巻
89	長野県	信州の遺跡 第7号
90	長野県教育委員会事務局部 文化財・生涯学習課	長野県の埋蔵文化財情報誌 信州の遺跡 第8号
91	長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書109 立科町 新城峰遺跡
92	長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書110 松本市海岸寺遺跡
93	長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書111 中野市 南大原遺跡
94	長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書112 中野市 琵琶島遺跡 壁田城跡 ねごや遺跡
95	長野県埋蔵文化財センター	西近津遺跡群 第1~4分冊
96	長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター 年報 32 2015
97	名古屋市博物館	研究紀要 第38巻 2015
98	南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第34号
99	新潟市美術館	ニイガタ・クリエーション
100	新潟大学旭町学術資料展示館	中田瑞穂俳句絵かるた
101	(共)人間文化研究機構 総合地球環境学研究所	要覧 2015
102	根津美術館	扇面歌意画卷
103	根津美術館	尾形光琳300年忌記念特別展 燕子花と紅白梅
104	根津美術館	財团創立75周年特別展 根津青山の至宝
105	公益財団法人 阪急文化財団	阪急文化研究年報 第4号

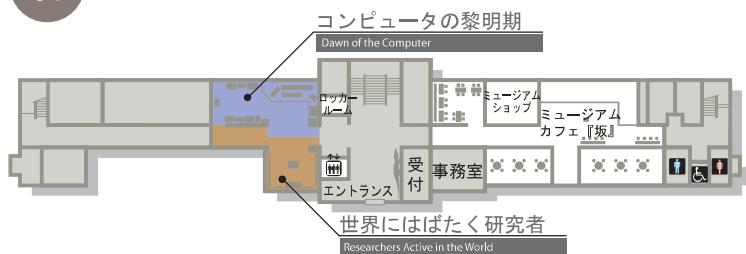
No.	寄贈者	書名
106	美術資料センター	三島喜美代展 Paintings & Ceramics カタログ
107	広島大学総合博物館	広島大学所蔵標本・資料 1
108	広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告 7
109	福井県立歴史博物館	特別展ふくいゆかりの名宝たち 里帰り文化財展
110	福井県立歴史博物館	福井県立歴史博物館年報 Museum Style vol.8
111	福井県立歴史博物館	福井県立若狭歴史博物館 館報 平成 26 年度
112	佛教大学宗教文化ミュージアム	研究紀要 第 11 号
113	文化財防災ネットワーク推進事業	第 1 回 文化財等防災ネットワーク研究集会
114	文化庁「平成 27 年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業」	平成 26 年度独立行政法人国立文化財機構 アンシェイトフェロー研修報告書
115	松代文化施設等管理事務所	松代＜付・年報＞第 28 号（2014 年）
116	松代文化施設等管理事務所	真田宝物館収藏品目録
117	松原市民ふるさとびあプラザ	平成 27 年度特別展 江戸のはじめの松原の…
118	三木楽器	社史
119	学校法人 明治大学	明治大学校地内遺跡調査研究報告書 7
120	山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学埋蔵文化財資料館年報 10
121	山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学構内遺跡調査研究年報 XXI
122	山口大学埋蔵文化財資料館	見島ジーコンボ古墳群 第 124 号墳 潮待貝塚 出土資料調査報告
123	歴史資料ネットワーク	全国史料ネット研究交流集会 報告書
124	和歌山県立博物館	企画展 鯨とり－太地の古式捕鯨－
125	和歌山県立博物館	高野山階層 1200 年記念 弘法大師と高野参詣
126	和歌山県立博物館	H27 年度秋季特別展 表千家と紀州徳川家
127	和歌山県立博物館	和歌山市立博物館 研究紀要 第 30 号
128	和歌山大学紀州経済紙文化史研究所	紀州経済史文化史研究所紀要 第 36 号
129	和歌山大学紀州経済紙文化史研究所	和歌山大学紀州経済紙文化史研究所特別展 南海鉄道旅客案内
130	和歌山大学紀州経済紙文化史研究所	和歌山大学紀州経済紙文化史研究所特別展 南海鉄道旅客案内
131	和歌山大学紀州経済紙文化史研究所 地域活性化事業実行委員会	和歌山・南大阪地域に根差した大学博物館における展示を用いた活性化および教育事業実施報告書



「知」を軸に人・モノ・情報が出会い、交流し、新たな「知」の創造を目指す。

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館のご案内

1F



コンピュータの黎明期 Dawn of the Computer

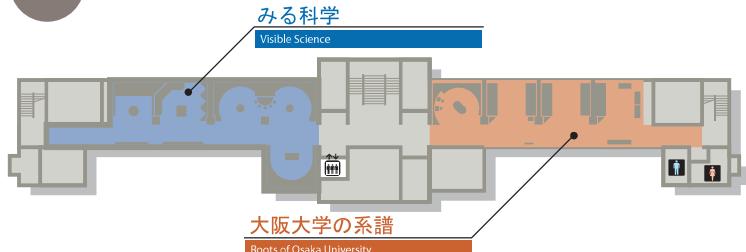
阪大では、第二次世界大戦後もなく真空管式コンピュータの研究と試作を始めました。その当時誕生したばかりの真空管式コンピュータと、時代の先駆を担った研究者たちを紹介しています。

世界にはばたく研究者 Researchers Active in the World

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹が、中間子論を着想した大阪大学物理学教室。当時、日本の科学の中心といわれた理学部の自由な研究環境、そこに関わりのある様々な研究者を紹介しています。

ミュージアムカフェ「坂」 Museum Café 「SAKA」

2F



みる科学 Visible Science

光学顕微鏡、電子顕微鏡、超高压電子顕微鏡のしくみや、細胞より小さい分子の構造や、仕組みを明らかにするX線構造解析などの技術と、それらを利用した研究の一端を紹介しています。

大阪大学の系譜 Roots of Osaka University

かつての懐徳堂、適塾といった大阪市民の学問からの流れを継承し、今日まで受け継がれてきた大阪大学。その学問や研究活動と、社会との関わりの歴史を紹介しています。

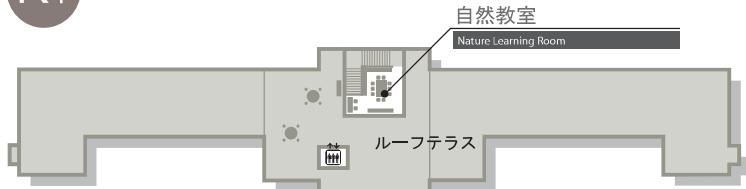
3F



待兼山に学ぶ Learning from Machikaneyama

阪大豊中キャンパスが位置する待兼山。古代の生物や、地形の変遷から、現在の豊かな自然の中で棲息する生き物の営みまで、地域に根ざしその変化を解明する研究を紹介しています。

R F



自然教室 & ルーフテラス Nature Learning Room

阪大キャンパスは豊中、吹田共に自然がいっぱいです。自然教室内に設置されたPCでは「阪大キャンパスに咲く花」を検索することができます。また、ルーフテラスに出れば背後の待兼山の息吹を感じることができます。

Museum of Osaka University

編集後記

当館の展示場である待兼山修学館は、大阪帝国大学医学部附属病院の分院として1932(昭和7)年に建設されました。歴史的建物として登録文化財となっております。博物館の展示会場として2007年8月に公開して以来、日曜祝日と年末年始を除いて毎日開館してきました。しかしながら、日常業務の中で行う清掃・点検では対応しきれないこともあります。2015年の年末から年始にかけて1ヶ月間の休館をいただき、常設展示の点検を実施し、長年の埃の除去や、展示物への手当てを行いました。資料の保存と活用(展示)は博物館にとっては永遠の課題といえるもので、これからも同様の取り組みが必要だと考えております。

この長い間には、修学館周辺の景観も少しずつ変わってきたのですが、特別展で取り上げた隣接する石橋宿舎が取り壊されたことは特に大きな変化でした。現在その跡地はコインパーキングとして利用されています。また修学館の大きな魅力の一つは、待兼山の自然と隣接していることなのですが、そこに野生のイノシシが出現したために、待兼山遊歩道への立ち入りが制限されている状況が続いているのが、悩ましいところです。

(文責 宮久保 圭祐)

大阪大学総合学術博物館 年報 2015

2016年12月発行

編集・発行 大阪大学総合学術博物館
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13

印 刷 株式会社 セイエイ印刷
〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-10-33

表紙デザイン 辻村紀子(アトリエツジムラ)
